社会福祉法人

京都府社会福祉事業団

令和２年度　事業報告書及び決算書

Kyoto Social Welfare Corporation ANNUAL REPORT 2020

KSJ
希望さわやか事業団

https://www.ksj.or.jp/

目次

1 法人概要 …… 1

2 実施事業 …… 2

3 法人の取組み総括 …… 3

4 運営状況

法人共通 …… 5

心身障害者福祉センター
（障害者支援施設） …… 9

心身障害者福祉センター
附属リハビリテーション病院 …… 11

洛南寮 …… 13

東山母子生活支援施設 …… 17

視力障害者福祉センター …… 19

桃山学園 …… 21

こども発達支援センター …… 25

発達障害者支援センター …… 27

5 関連資料 …… 30

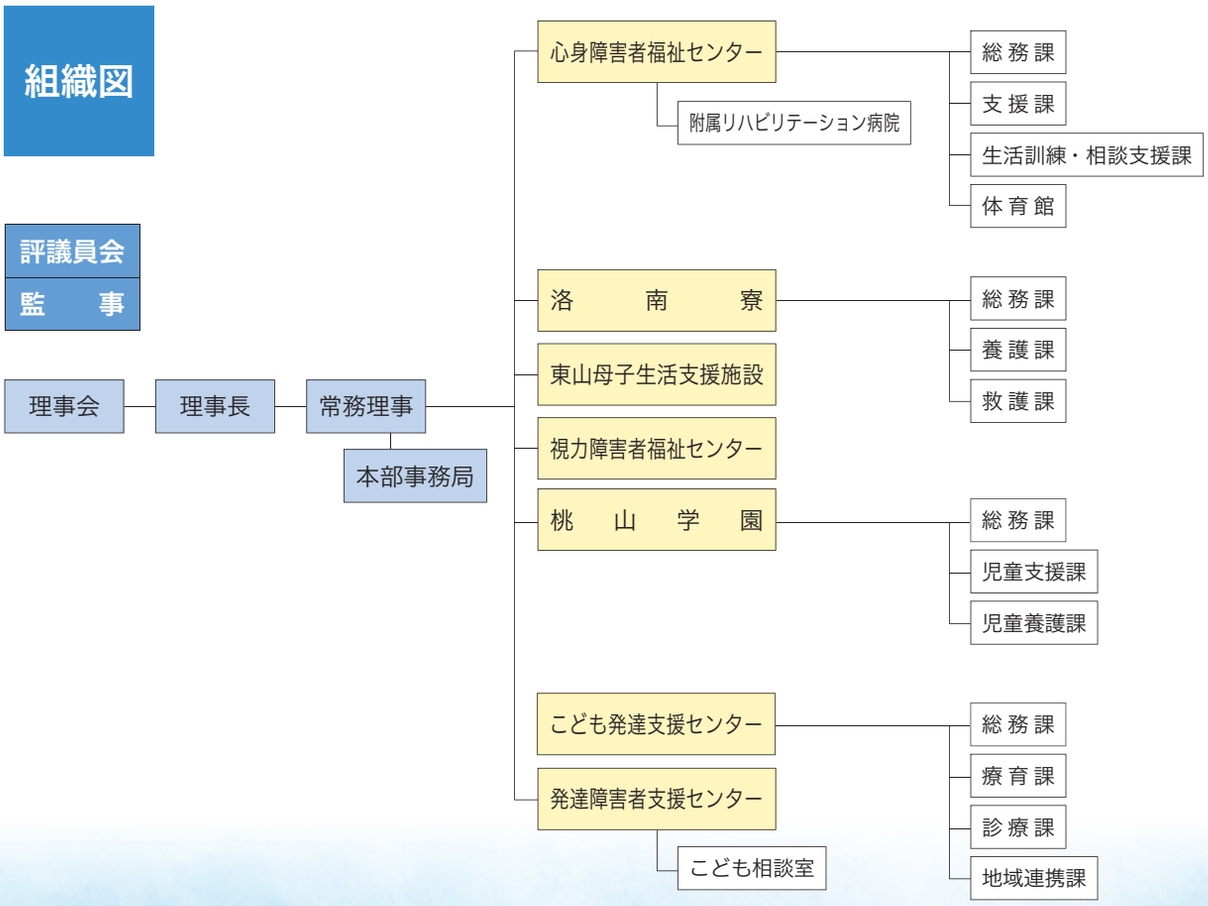
6 職員配置状況 …… 85

7 決算報告書（抜粋版） …… 88

法人概要

法人名	社会福祉法人京都府社会福祉事業団
代表者名	理事長　松本　均
基本財産	10,000,000 円
設立年月日	昭和 52 年 8 月 2 日
主たる事務所	京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地
ホームページ	https://ksj.or.jp/

組織図



実施事業

施設名	運営事業
心身障害者福祉センター	障害者支援施設（施設入所・生活介護・自立訓練・短期入所）／一般・特定相談支援事業／体育館
（附属リハビリテーション病院）	病院（整形外科・リハビリテーション科・神経内科・精神科・歯科・内科（循環器）・泌尿器科）
洛南寮	養護老人ホーム／特定入居者介護事業 救護施設／居宅生活訓練事業・認定就労支援事業等
東山母子生活支援施設	母子生活支援施設／ DV 一時保護事業
視力障害者福祉センター	障害者支援施設（施設入所・就労支援事業）／特定相談支援事業
桃山学園	障害児入所施設・短期入所・日中一時支援事業／一般・特定相談支援事業 児童養護施設／子育て支援事業
こども発達支援センター（すてっぷセンター）	児童発達支援センター（福祉型・医療型）／児童発達支援事業（重症心身障害児） 放課後等デイサービス／保育所等訪問支援／障害児相談支援事業／診療所（小児科・児童精神科・整形外科）
発達障害者支援センター（はばたき）	発達障害者支援センター／こども相談室（ぐーちょきぱー）

法人の取組み総括

中期運営計画の策定と第四期指定管理者に指定

○令和３年度から７年度までの５年間を計画期間として、実現したい３つの将来像を掲げた中期運営計画を策定しました。
○京都府から平成 18 年度以降の施設運営の実績と中期運営計画で示した今後の方向性を評価いただき、次期５年間の指定を受けました。

安心・安全なサービスの提供

○利用者支援の充実やサービス内容の改善と居住環境の整備、職員の専門性の向上に努めました。
○新型コロナウィルス感染症拡大防止策として
①消毒液等の感染防止物品の整備
②在宅勤務等の勤務環境の整備
③感染者発生時における施設間協力体制の構築
などを進めました。

地域に向けた取組みの推進

○新型コロナウィルス感染症の感染防止対策を徹底した上で、専門職員による講演・相談の要望に対応しました。
○地域住民の健康増進や地域団体の活動への参画を進めました。

虐待・事故防止の取組みの徹底

○事故・虐待防止委員会を外部委員の参画も得て開催しました。
○不適切な身体拘束をなくすため、会議を設置し、検討を進めました。
○虐待防止研修について、講義に加えオンライン動画を活用することで全職員が受講しました。

働きやすい職場づくりの推進

○働き方改革関連法を踏まえ、勤務時間の適正管理や休暇取得推進、タブレット導入による業務効率化を推進しました。
○育児のための短時間勤務の拡充や女性の役付職員への登用を進めました。

人材確保・育成や広報もオンラインを活用

○入職希望者への説明会や研修、法人の会議等にオンライン方式等の新たな実施方法を導入しました。
○HPのリニューアルやSNSの活用で情報発信を強化しました。

中期運営計画の策定

実現したい将来像を描き、今後５年間の方向性を示しています。

実現したい3つの将来像

1. 利用者一人ひとりの満足度の向上を追求し続ける事業団
2. 地域や企業、大学など様々な主体とともに歩み続ける事業団
3. 人財力を高め、強固な組織へと進化し続ける事業団

【策定までの流れ】

5月	計画の骨子(案)作成
6月	過去の決算分析･今後の収支見込み作成
7月	施設からの取組項目を集約
8月	施設別ヒアリング
9月	計画(中間案)作成･理事会に報告
11月	職員への意見募集
1月	数値目標の設定
3月	計画(最終案)作成･理事会及び評議員会に報告

３つの重点改革

❶ 利用者満足度の向上

虐待・事故防止や自然災害・感染症対策等の安心・安全を確保する取組みや法人内の施設×施設のコラボレーションによるサービス向上をめざします

❷ 様々な主体との連携・協働

地域や企業、大学等との連携・協働の可能性について常にアンテナを張り巡らせ、新たな取組みにチャレンジします。

❸ 組織基盤の強化

人材の確保と育成に努め、職員が働きがいを感じることのできる職場づくりを進めます。また、組織・財務体質の強化、業務効率化に取り組むとともに、府民への情報発信を強化します。

第四期指定管理者に指定

令和３年度から７年度までの５年間、６つの施設を管理運営する指定管理者に京都府から指定されました。

【指定管理者指定までの流れ】

10月	中期運営計画(中間案)をもとに指定申請書を作成･提出
11月	京都府選定審査会にて審査
2月	京都府議会に指定議案が提案
3月	指定管理者に指定

〈各施設の位置図〉

地域に向けた取組みの推進

新型コロナウィルス感染症が拡大する中で、多くの行事・イベントが中止を余儀なくされましたが、感染防止対策を徹底し、実施方法を工夫しながら取り組みました。

子育てに不安を抱える
地域の方々対象の
“おはなし広場「とまり木」
を開催
（こども発達支援センター）
3回/年

安心・安全なサービスの提供

安心・安全を基本に利用者サービスの充実、新型コロナウィルス感染症への対応を適時実施しました。

利用者サービスの充実

- 利用者への支援や訓練内容について、法人内の「サービス向上推進本部」による点検・改善、自己評価の実施等で充実を図りました。
- 利用者の見守りやオンライン面会に必要な機器の充実など、施設の設備環境を整備しました。
- 本部や施設主催の研修に加え、外部機関が開催する研修等の受講を促進し、専門性の向上に努めました。

新型コロナウィルス感染症対策の実施

- 利用者・職員・来客者の健康チェックを徹底するとともに、感染対策用備蓄品（消毒液、マスク、防護服等）の確保、消毒や飛散防止措置の実施、施設のゾーニング確定、陰圧設備・空気清浄機等の環境整備を進めました。
- 時差出勤や在宅勤務、通勤方法・出勤日の変更等の感染防止のための勤務環境を整備しました。
- 利用者・職員に感染者（疑い者を含む。）が発生した場合の対応や施設間の応援体制の仕組みを作りました。

虐待・事故防止の取組みの徹底

事故・虐待防止委員会の開催や研修の全員受講により取組みを推進しました。

- 毎月開催する各施設の事故・虐待防止委員会に、外部委員の参画を得て、点検・改善のサイクルで取組みを進めました。
- 「身体拘束検討会議」を立ち上げ、「身体拘束に関する職員アンケート」を実施し、現状や対応事例の検証、適切な対応方法等について集約しました。今後、研修等に活用し、より適切な支援につなげることとしています。
- 過去の実例を踏まえた実践的な研修（7回開催）により、利用者への関わり方や、人権意識、職員間のコミュニケーションの重要性を改めて学びました。

働きやすい職場づくりの推進

働き方改革関連法を踏まえた取組み

♣ 年次有給休暇の取得推進

法人全体で50%以上の年次有給休暇取得率をめざし、定期的に業務の進捗を把握し、働きやすい職場環境づくりに努めました。

年次有給休暇取得率

54%

（目標値:50%）

♣ 労働時間の適切な管理と業務の効率化

タイムレコーダーにより勤務時間を適切に把握するとともに、安全衛生委員会で時間外勤務の実態分析と縮減策の検討を行うとともに、タブレット機器の導入や支援記録システムの増設等の環境整備を行い、業務の効率化を図りました。

「子育てにやさしい職場づくり」と女性活躍の推進

●不妊治療のための特別休暇制度の創設や育児のための短時間勤務の拡充を行いました。また、「子育て応援ハンドブック」を作成し、職員への制度理解の促進を図りました。

●女性職員が管理職や役付職員として活躍でき、誰もが働きがいを感じることのできる職場環境の整備に努めました。

女性役付職員の割合

57.0%

（R③4/1時点）

51.5%
（R②4/1時点）

人材確保・育成や広報もオンラインを活用

採用人数

10名

（令和3年度）

安定的な人材確保

オンラインも活用し、法人の魅力を発信し人材確保に努めました。

個別説明会の開催

82名
（53回開催）
（R① 36名）

対面式やオンライン形式で個別説明会を随時実施しました。各施設の職員も現場からオンラインで参加し、働く魅力・やりがい等現場の雰囲気をリアルに伝えました。

就職フェアでPR

60名
（9回開催）
（R①名135名）

対面式だけでなく、オンラインや動画配信など、様々なスタイルの就職フェアに参加しました。

インターンシップ・実習の受入

32名
（R① 98名）

インターンシップや実習などを積極的に受け入れ、福祉現場の魅力の発信や人材確保、次世代を担う人材育成等に取り組みました。

14.9%(R①)

高ストレス者率

13.0%

人材の定着支援と育成

適切な健康管理と組織活性化プログラムの活用

毎年度実施するストレスチェックによる個人と集団分析を通じた対策の推進や、組織活性化プログラム（職員アンケート）による職員意見の反映により、働きやすい職場環境づくりに努めました

人事考課制度の運用

職員と年３回の個別面談を実施し、人材育成に活用しました。併せて、考課者研修を実施し、今後、考課結果の給与への反映を通じて処遇改善にもつなげていくこととします。

法人内研修受講者数

672名

249名(R①)

専門性向上に向けた実践・研究の推進

研修の動画配信サービスを導入し、場所や時間を問わず学ぶことのできる環境を整備し、研修の受講者数は、前年度（延べ249名）の2.7倍となりました。

外部機関の研究発表会等への参加の促進

- 全国社会福祉事業団協議会の募集論文➡２テーマ応募
- 全国社会福祉法人経営者協議会の募集事例➡１テーマ寄稿
- 兵庫県社会福祉事業団職員研究・実践等発表大会➡１テーマ発表

毎年開催する法人内の実践・研究発表会を、オンラインで開催し、法人のOB職員にも視聴いただきました。

法人の魅力発信、広報活動

ホームページをリニューアル

リニューアルのポイント

① サポートガイドの設定	提供するサービス毎に区分して表示
② NEWS	最新のお知らせをカテゴリー（「施設の取組み」、「リクルート」等）ごとに表示
③ コラム	力を入れている取組みや専門的な読み物を掲載
④ リクルート	「支援系」と「医療系」に区分して表示

SNS等を活用した情報発信

SNSによる情報・魅力発信

施設や働く職員の雰囲気等を動画で配信しました。
また、インスタグラムを開設し、情報・魅力発信を強化しました。

上位認証法人としてのアピール

上位認証法人の紹介冊子への掲載（8ページ）や、フリーペーパー「BRIDGE」で「衣・食・住」をテーマとした福祉職場の魅力発信に取り組みました。

大学やイベントなどへの出講

大学の講義や福祉団体主催イベントに積極的に参加し、発表・コメンテーターなどをつとめ、福祉の情報や事業団の魅力発信に努めました。

心身障害者福祉センター（障害者支援施設）

１年間の総括

施設支援では、入所者が安心・快適で質の高い暮らしを営んでいただけるよう生活介助を行うとともに、自立をめざして生活能力の維持・向上につながる支援に努めました。また、地域で生活する方々へのサポートとして日中通所や短期入所を積極的に受け入れました。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中で行事の縮小や外出機会が減ったとはいえ、入所されている方々にとってはより満足度の高い日中活動となるよう、農園活動や石鹸づくり、陶芸等の創作活動を充実し、利用者からの好評を得ることができました。

また、職員が排泄メカニズムやオムツの適切な使用法などを研修で学び、排泄支援に係る施設全体のスキルアップを図りました。

生活訓練事業所ひまわりでは、関係機関と連携し、３名の方が訓練期間を終了され、ハローワークでの就労活動や家事等の日常生活の向上に繋げることができました。また、１名の方は通所を継続しながら職場に復帰することができました。

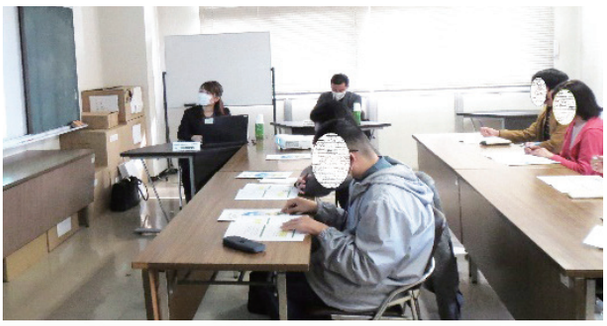
相談支援事業所TOMOでは、入所施設と連携し、65歳以上の介護保険施設への入所希望者に対して保険申請手続、施設見学等の支援を行うなど制度の利用を支援しました(現在３名の利用者が手続き中)。

体育館では、京都府南部の障害者スポーツ・レクレーションの活動拠点としてスポーツ教室の実施（年14回)、ナショナルトレーニングセンター指定施設として競技団体の合宿や「第３回チャレンジカップ京都」の準備・設営に協力しました。

主な取組み

「ワークセンターASHIHARA」と「ショップあしはら」の開設

◆日中活動の充実をめざし、利用者さんが農園で行う白菜、大根、玉ねぎなどの収穫や、石鹸・バスボム、手芸品、陶芸などのものづくりに取組む「ワークセンターASHIHARA」、その販売を行う施設内売店「ショップあしはら」を開設しました。活動を通じて、ものづくりや働くことの喜びを感じてもらえるよう取り組みました。



「南部高次脳カフェ」の開催等

◆高次脳機能障害者やその家族が気軽に集い交流できる「南部高次脳カフェ（ひまわり)」を２回開催しました。1回目は就労についての研修、2回目は栄養指導を行いました。いずれも就職・復職するためのステップとして、日ごろの生活習慣を見直すことができました。

「ニコリほっと」プロジェクトをスタート

◆利用者さんの「できること」、「好きなこと」など、利用者にとってのプラス面に着目する意識を高めるよう「ニコリほっと」プロジェクトとして取り組みました。今後、その成果を法人研究発表や全国社会福祉事業団協議会の実践研究論文での公表を予定しています。

市内中学校で福祉体験学習会開催 ～120名参加～

◆車いす操作講習会を城陽市社会福祉協議会と連携し、当施設の車いす利用者の方々に応援もいただき実施しました。

短期入所・日中通所の利用が大幅増

◆地域の方の短期入所及び日中の通所利用の受入れを促進し、日中通所は前年度からの３名が継続利用、短期入所は３名増の４名を受入れ、内１名は３ヶ月間の利用となったこともあり年間利用延べ日数は前年度の４倍近い142日となりました。

利用者数は概ね目標達成

｜障害者支援施設｜

４名の新規入所を受け入れたものの、死去等(４名)により令和２年度末現在の在所者数は定員50名に対して46名となりました。

｜生活訓練事業所ひまわり｜

新規利用者４名、年間平均登録者12名、１日平均利用者数は4.5名（目標4.0名）と多くの方にご利用いただきました。

｜相談支援事業所TOMO｜

サービス等利用計画の作成62件、モニタリング73件行い、合計135件（目標130件）の利用となりました。

利用者ニーズを踏まえた研修

◆「ケアプランの立て方について」、「リフター（介護器具）講習」等のテーマで所内研修を実施し、介護技術の向上を図りました。（６回/年間）

心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院

１年間の総括

人工関節置換術など高度な手術や高次脳機能障害専門外来といった附属リハビリテーション病院の特色を活かした多様な医療サービスを、京都府立医科大学附属病院と連携して提供することで、地域の皆様の健康と快適な暮らしを支え、地域の皆様から信頼される病院運営に努めました。多職種の職員が一体となって病院の稼働率向上に取り組み、年度の前半は新型コロナウイルス感染症の影響で外来・入院患者数の減少がみられましたが、下半期には着実に回復しました。

また、出前講座に加え、地域住民の方々や各種団体等と連携した医療・健康に関する相談や講座について、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から動画上映などで実施しました。今後とも地域に根ざした活動に重点を置いた取組みを進めます。

京都府南部地域の「高次脳機能障害対応医療機関」の中核医療機関として、生活訓練事業所ひまわりと連携し、高次脳機能障害患者の社会復帰を支援しました。

さらに、日本初のメダリスト誕生をめざしパラリンピック・パワーリフティング選手への医科学的サポートを行うなど、スポーツを通した障害者支援活動に取り組みました。

主な取組み

他病院等との連携による医療サービスの提供

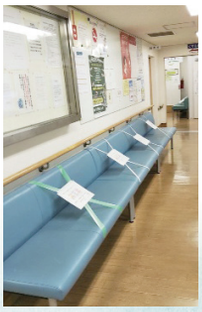
◆府立医科大学整形外科教室、リウマチセンター、リハビリテーション医学教室など他院との連携を拡充し、患者の積極的受入れに取り組みました。

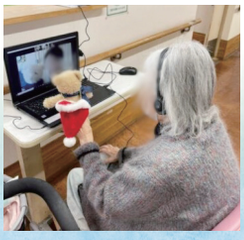
・手術患者　年 55 名（目標 50 名）
・高次脳機能障害専門外来の新規患者　年 13 名（目標 20 名）
・術前等口腔ケア患者年 40 名(目標 30 名)及び新規障害児(者)歯科患者年 10 名(目標 15 名)

新型コロナウィルス等感染防止対策の強化

◆手指洗浄や消毒、マスク装着の励行、待合室での「密」回避の啓発に加え、自動検温機や空気清浄機の新設、こまめな換気など、院内感染防止対策を徹底しました。また、発熱者発生時の対応シミュレーションも実施し万全の態勢を整えました。

◆入院患者の感染リスク軽減を目的に、外部者との接触を制限する一方、オンライン面会の導入などにより、院内感染防止と患者・家族ニーズの両立に対応しました。

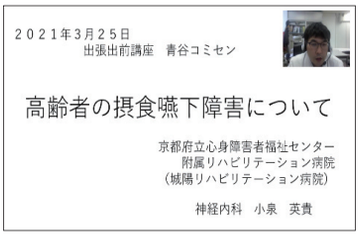


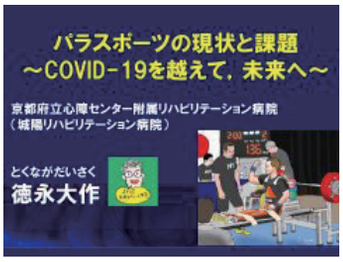


病院の専門的知見を地域へ還元

◆**Web講演会　令和３年２月８日　参加人数120名超**
「パラスポーツの現状と課題～COVID-19を越えて　未来へ～」

◆**青谷地区第６回医療・健康講座【ビデオ収録・上映形式】**
令和３年３月25日　於)城陽市青谷コミセン　参加人数５名
「高齢者の摂食嚥下障害について」
「ステイホームで体力づくり・自宅でできる健康体操」





年度の下半期は目標達成率90%に回復

◆１日当たりの外来患者数　目標80名　上半期60名(達成率75%)：下半期71名（達成率89%）
１日当たりの入院患者数　目標16名　上半期11名(達成率69%)：下半期15名(達成率94%)
上半期は４月から５月にかけて発出されたコロナウィルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の影響もあり患者数は減少しましたが、宣言解除後は徐々に患者数も増加し、下半期は目標数値に近づくところまで回復しました。

利用しやすい環境の整備～ホームページリニューアル・送迎サービス～

◆病院ホームページのリニューアル、行政広報紙への広告掲載など広報媒体を拡充しました。
・ホームページ内の診療科や入院案内情報の更新、医師の紹介・アクセス紹介チラシの掲載等で充実
・城陽市役所内インデックス広報の企画・作成など、患者向け情報発信の強化
・城陽市、宇治田原町広報紙への広告掲載(年間各２回)、京都京阪バス車内放送継続(通年)

◆患者サービス向上のため、病院までの送迎について利用ニーズの把握やルート検討を行いました。今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況等も見極め、具体的な運行計画を策定します。

専門性の向上による高度医療サービスの提供

◆「京都府リハビリテーション教育センター実践セミナー」(延べ７日、35名参加)、「総合力のつくリハビリテーション専門職オンライン研修会」(32名参加)のほか、丸太町リハビリテーションクリニックの協力を得てセラピストの院外派遣研修を実施し、事後の伝達研修により研修成果を院内スタッフにも還元しました。

◆臨床神経心理士資格取得に向けたweb講習会に１名が参加しました。

洛南寮（養護老人ホーム）

１年間の総括

地域で生活する上で様々な困難を抱える高齢者を受け入れ、一人ひとりの人権を尊重し、心身ともに健康で安心できる暮らしと自立した日常生活を送っていただくことをめざし、支援しました。新型コロナウイルス感染症の影響により行事や外出等の制約はありましたが、消毒やいわゆる三密を避ける等感染症対策を徹底し、介護予防体操や余暇等日中活動の充実に努めました。

事故・虐待防止の取組みについては、毎月実施する事故・虐待防止委員会において、事故・ヒヤリハット報告を検証し改善に取り組むとともに、身体拘束適正化委員会にて具体的な事例の検証をふまえた研修も実施し、職員の意識向上や身体拘束ゼロ・適正化につなげました。

また、所在不明や転倒等のリスク回避のため、利用者の動きを音で知らせてくれる人感センサーを導入したほか、夜間における重度の方への介護や見守り強化をするため、夜間勤務者を増やすなど、より安心・安全なサービス提供体制を構築しました。

今年度は、特に嚥下機能の低下がみられる利用者への対応を重点課題として「食事形態検討委員会」を設置し、個々の利用者に適した食事形態の点検・見直しを行いました。

加えて、地域にお住まいの高齢者について、虐待被害等で緊急入所が必要な際には速やかに受け入れるなど、関係機関や地域から信頼され選ばれる施設づくりに努めました。

主な取組み

嚥下機能低下に対応した食事の提供

◆嚥下機能低下による喉詰め・誤嚥が増えてきたことから、「食事形態検討委員会」を設置し、全ての利用者について食事形態の一斉点検を行い、適切な食事形態に見直しました。加えて、退院後や体調不良時等、状況の変化に応じて見直すことで、誤嚥によるヒヤリハット件数の減少に繋がりました。（令和元年度６件、令和２年度３件）

◆新たな食事形態の選択肢を増やすよう、柔らかくムース状に調理する「ソフト食」導入に向けて、他施設への視察を実施の上、検討しています。

◆救護課と合同で行った所内研修では、現在提供している食事形態（ミキサー、刻み等）を試食して、味や喉ごし等を体験することで、利用者視点での食事支援について検討を深めました。

夜間支援体制の強化 ～夜勤１名、宿直１名体制から夜勤２名体制へ～

◆介護度の高い利用者が増え、夜間における介護支援の増加や所在不明、転倒などの事故防止に向け、夜間の勤務者を２名体制に強化しました。

ハード・ソフト両面から利用者サービスを充実

◆居住空間における環境改善の取組みとして、施設内身体障害者用トイレの扉や床を新調しました。
◆専任の機能訓練指導員による機能訓練や日中活動の一つとして取組んでいる体操等により介護予防に取り組みました。
◆月１回の作品作りでは季節の飾り物や塗り絵の作成に取り組むほか、職員による習字・お花クラブを実施し、クラブ活動を楽しみました。

干支かざりを作成し、地域のボランティアスタッフへ配布

◆施設内で作成した干支飾りや作業写真を「ひだまりの会」（京田辺市社会福祉協議会のボランティアサークル）スタッフの方へお送りし、早く再開できることを願いました。

利用者数の確保に向けた情報発信の強化

◆施設の空き状況を掲載した「洛南寮だより」を福祉事務所や居宅介護事業所、精神科病院等へ発送するとともに、過去に入所の問い合わせがあったケースに関するその後の状況確認等など行い、利用者の確保に努めました。新たな入所は 18 名ありましたが、長期入院等で退所される方も 18 名となり、前年度並の利用者となりました。（年度末時点：86 名在籍）
◆入所者のうち、介護を要する方については、施設内の一般型特定施設入居者生活介護の契約を結び（年度末時点：27 名）、介護保険サービスに基づく支援や機能訓練などを行いました。

利用者ニーズを踏まえた研修

◆不眠を訴え治療薬を服用している利用者が少なくない現状を踏まえ、外部講師（薬剤師）による「不眠症治療薬」に関するオンライン研修を行ったほか、誤嚥によるヒヤリハット件数の増加を踏まえた「喉詰め等の急変時の対応」やコロナ禍における「感染症予防」など、様々なテーマのもと救護課と合同で実施し、職員の専門性向上に取り組みました。

洛南寮（救護施設）

１年間の総括

生活困窮をはじめ様々な生活上の課題を抱え、総合的な支援を必要とする利用者を受け入れ、一人ひとりの人権を尊重し、心身ともに健康で安心できる暮らしと地域社会での自立に向けた支援や訓練を行いました。

特に、救護施設には循環型セーフティーネット機能の発揮が期待されていることから、「居宅生活訓練事業」を通じた地域生活への移行や利用者の個々の状況に応じた、より適切な施設への移行を推進しました。

また、施設内においても利用者一人ひとりが自身の生活を立て直し、自立に向けて取り組むことができるよう、個別面談・グループワーク等を通じて、社会生活上必要な自己対処能力の向上を図りました。

さらに、地域において一時的に居宅を失った方や生活が困難となった方、精神科病院に長期間入院されている方等への「一時入所事業」の活用を推進し、福祉事務所や精神科病院と連携しながら、地域で暮らすための相談支援等を行いました。

主な取組み

「洛南寮式自立支援プログラム」で２名が地域移行

ホップ　～施設内で疑似就労～

◆紙すき製品の制作・販売及び施設内喫茶の給仕に加え、食事の配膳・下膳や清掃、シーツ交換、草刈りやベンチ修理等の作業で、働く意欲を醸成しました。

ステップ　～地域移行に向けたグループワーク～

◆利用者の中で、①地域移行への意欲の高い方々を「自立グループ」、②施設内自立をめざす方々を「生活充実グループ」とグループ化し、健康管理やお金の使い方、適切な対人関係、外出時の注意点等様々なテーマでグループワークを行うなどの生活訓練を実施しました。（２回/月）

ジャンプ　～地域のマンションで自立生活を体験～

◆施設が契約している近隣の賃貸マンションで実施している居宅生活訓練事業において、金銭管理や調理等の支援を行い２名の利用者が施設を退所して地域での新たなスタートをきられました。その後、新たに２名の利用者が居宅生活訓練を始められました。（２名/年間）

精神科医療機関との連携

◆精神科病院入院中で退院後の生活に不安のある方について、一時的な退院の場として一時入所事業を利用いただきました。（年延べ７名）

地域清掃活動の実施

◆利用者と職員で地域清掃活動を実施しました。清掃活動の際はユニフォームを着用することで地域住民の方に洛南寮の活動の一部を知っていただく良い機会となっています。（年４回　延べ14名）

前年度並の利用者数の確保

◆生活支援を必要とする多くの方により利用いただけるよう、施設の空き状況を掲載した 「洛南寮だより」を福祉事務所や居宅介護事業所、精神科病院等へ発送するとともに、過去に入所の問い合わせがあったケースに関するその後の状況確認等など行い、概ね９割の利用率となりました。（年度末時点　91名在籍）

利用者ニーズを踏まえた研修と情報発信

◆養護課との合同研修に加え、他法人の主催する研究発表会で、施設での取組み（テーマ「成年後見制度の活用」）を発表しました。職員の専門的知識や技術の習得及びモチベーションの向上につながっています。

東山母子生活支援施設

１年間の総括

DV被害や虐待など身体的、精神的に様々な課題を抱えて入所された母子に対して社会的養護を担う施設として安心・安全な生活環境を提供するとともに、地域社会で母子が自立した生活ができるよう、母子の自主性を尊重しながら、児童の健全な成長発達と母親の生活、養育、就労を支援しました。

特に地域生活への移行に当たっては、心理的な面でのフォローに加え、就労の場の確保が重要なことから、就職支援機関への同行及び連携や心理療法担当職員による母子への心理ケアなど、きめ細やかな支援に努め、４世帯が退所し新たに地域生活をスタートされました。

主な取組み

日常の暮らしから就労まで、手厚い支援で母親の自立をサポート

◆保育所等への送迎支援、母親の就労や体調不良時に行う補完保育、母親のリフレッシュを目的とした「リフレッシュ保育」を行い、子育てをサポートしました。（延べ93回）

◆通院や公的手続き等の際の同行支援、居室の整理・整頓、買物代行等の家事支援を行いました。（同行支援121件、家事支援453件）

◆「京都府ひとり親家庭自立支援センター」、「職業安定所」、「京都市障害者地域生活支援センター」等の就職支援機関と連携し、３名が就職されました。

◆DV被害者の母及び被虐待児の心の安定と母親の養育能力の向上のため、心理療法担当職員による心理ケアを実施しました。（母子34名、延べ324回）

グループ活動等を通じて児童の成長と発達を支援

◆小１～小６の児童に対し、学童保育「ドリームクラブ」を実施し、遊びや学習などの活動を通して子ども達の成長を支援しました。（延べ240日、1,744名参加）

今年度からの新たな取組みとして、学校の長期休暇時に学童保育の小学生を対象に施設外へ出かける活動（ファーストフード店、東山散策等）を行いました。

◆中高生を対象に、調理実習（チョコレートフォンデュ）や戸外活動（東山散策）などを実施しました。（3回）

コロナ禍においては、大学生のボランティア団体の協力を得ることが難しく、行動範囲は縮小されましたが工夫して実施しました。

「かるがもクラブ」の活動等を通して親子関係の構築を支援

◆親子で参加する「かるがもクラブ」では、東山ホームパーティを開催してパフォーマンスを披露したり、お餅つき、ボッチャ体験会等も実施しました。（6回、延べ113名参加）

◆乳幼児の母親を対象とした「ひよこクラブ」では、マスクやプリン作り、UVレジン（アクセサリーづくり）等を実施しました。創作を楽しみながら、子育てに関する日頃の悩みや子どもの成長への喜びなどを母親と共有しました。（6回、延べ9名参加）

子どもを守るための地域ネットワークへの参画

◆東山区子育て支援調整会議や要保護児童対策地域協議会に参画し、京都市東山区における要保護児童への課題や支援ニーズに関する情報交換を行いました。（10月）

定員の充足に向けた情報発信の強化

◆近畿圏内全福祉事務所（193箇所）に施設パンフレットを送付するとともに、ホームページ・ブログの更新頻度を毎週1回とする等情報発信を強化（50回（R① 38回））し、前年度並の利用者を確保しました。

なお、新たに入所されたのは5世帯で、新たに地域での生活を始めるために退所されたのが4世帯となりました。

（R2年度末在籍：14世帯／R1年度末在籍：13世帯）

利用者ニーズを踏まえた研修

◆利用者の母から子への虐待対応、子どもの抱える性的問題等をテーマとした職場内研修を実施しました。（6回）

◆DV被害者支援や精神疾患を抱えた母子家庭への支援等をテーマとした外部研修に参加し、利用者支援における専門性の向上に努めました。（20回、延べ30名参加）

視力障害者福祉センター

１年間の総括

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発出され４月１５日から５月２４日までの期間、京都府からの要請に基づき臨時休所の措置を講じました。

臨時休所期間中であっても、学びが途絶えないよう、視力に応じた学習用資料（拡大文字・点字）の他、パソコン学習用のデータを各利用者へ配布するなど、在宅での学習を支援しました。

臨時休所期間終了後も、作成した感染防止ガイドラインに沿って、感染防止対策を徹底し、夏季休暇の短縮や１日の授業時間数を増やすなどの工夫をしながら、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師（以下、「あはき師」という。）養成施設として、単位認定に必要な授業時間数を確保しました。また、補習授業等の国家試験対策を実施し、あん摩マッサージ指圧師国家試験では、６名が受験して５名合格、はり師・きゅう師国家試験では、２名が受験して２名合格となりました。また、免許取得した利用者全員が就労することができました。

主な取組み

実践科目の設定で高度な「あはき師」を養成

◆国により改定された新しいカリキュラムとして加わった、筋肉の触診や関節運動の観察を通じて、筋肉の強張りや麻痺が関節運動に与える影響等について臨床現場で実践する「生体観察」の授業（30 時間/年間）を今年度から実施し、学習内容の充実を図りました。

国家試験合格と就労をスタッフ総力で支援

◆模擬試験（４回/年間）や補習授業（延べ 66 時間）等を実施することで、あん摩マッサージ指圧師国家試験では、５名（あん摩科：３名、はり科２名）が合格（合格率 83.3%）、はり師・きゅう師国家試験では、はり科２名が合格（合格率 100%）となりました。（実人員で５名合格）

◆合格したあん摩科３名については、治療院のスタッフとして、はり科２名については、１名が企業で健康管理を担うヘルスキーパーとして、また、もう１名が歩行困難等で通院できない方に施術を提供する訪問医療マッサージ事業所に就職しました。なお、不合格者についても、受験に再チャレンジできるよう聴講生として受け入れました。

地域あん摩奉仕等で地域住民の健康増進に貢献

◆地域住民の健康増進とあはき師養成カリキュラムの臨床実習を兼ねて、感染防止対策を講じながら、あん摩やはり施術を実施しました。
（あん摩臨床実習：143 回/年間　729 名施術
　はり臨床実習：52 回/年間　105 名施術）

◆地域住民の方々に対して行った、あん摩施術の無償奉仕については、新型コロナウイルス感染防止のため、ベッドの間隔をあけ、マスク着用の上、施術前の検温・手指消毒を行う等の徹底した感染防止対策を講じ、規模を縮小しての実施となりました。
（11 月 6 日開催、参加人数 49 名）

体験見学会の開催等により前年度並の利用者の確保

◆利用希望者に対し、実習室等の施設見学、実習体験のほか、学習支援機器のデモンストレーション等を行い、また、施設利用に関する個別相談を実施しました。（10 月 17 日開催　利用希望者 9 名参加）

◆年間 2 回の入所試験と国家試験後の聴講生入所試験を実施し、新規利用者として、あん摩科 1 年生 1 名、はり科 1 年生 5 名、聴講生として、あん摩科 3 名、はり科 1 名を迎え入れました。（利用者計 24 名　前年度比 96%）

研修を通じた総合的な教育力の向上

◆実技や臨床実習における指導力の向上を目的として、最新の施術による専門的知識を修得するため「はり施術における循環への影響について」をテーマに研修会を開催し、研究事例に基づいた、はり施術による血管、リンパ管の拡張と収縮への影響・メカニズムについて学びました。（8 月 17 日開催　12 名参加）

◆多様化する利用者への要望に的確に対応できるよう、外部講師によるコンセンサス（合意形成）研修会を開催し、グループワークを通じ、職員間の連携を高め、一体感ある利用者サービス提供の重要性について学びました。（3 月 3 日開催　15 名参加）

桃山学園（障害児入所施設）

１年間の総括

新型コロナウィルス感染症の感染が拡大する中、３月上旬から５月下旬まで児童が通園・通学する学校等は全て臨時休校という状況での年度のスタートでした。こうした状況を踏まえ、ゲーム大会や屋台設置等、施設内で完結するイベントを企画運営するなど、コロナ禍でも入所児童にとって充実した時間や環境の提供に努めました。特に施設内をエリア分けし、障害特性や年齢などを考慮した小グループ単位での生活としており、行動の自由度が増して生活力の向上につながりました。

また、隣接の児童養護施設に入所中の児童のなかで、その障害特性から当施設の方がより相応しいと考えられる者について、関係機関と調整の結果、当施設に転所することとなり、全国で唯一、両施設を併設している当学園の強みを生かすことができました。同様に次年度にも転所を予定する児童がおり、スムーズな移行に向けて体験利用を実施しています。

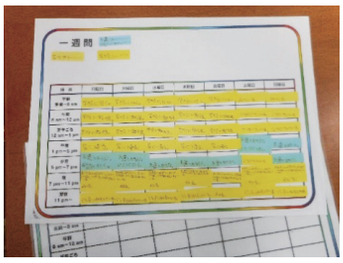
退園した児童に対して、移行先の成人施設の訪問や関係機関との会議に出席するなど新しい生活へのフォローを行いました。年度末にも２名の児童が18歳を迎えて退園し、状況に適した生活介護施設やグループホームで、就業や日中活動に励む生活を開始していますので、引き続きアフターフォローを行うこととします。

主な取組み

愛着形成に課題のある児童や強度行動障害への支援を充実

～外部アドバイザーを招聘してのカンファレンスの実施～

◆児童の障害状況を客観的に評価し支援につなげるため、外部アドバイザーにサポートいただいています。定期的に行うカンファレンスでは、児童が使用しているスケジュールボードや生活の様子を撮影した動画等を活用して児童の行動を分析し、適切なかかわり方を考えるなど専門的な助言を踏まえた支援に努めました。（８回/年間）



～小グループケアの継続～

◆児童の状況により、生活スペースを区切り、小規模のグループに分かれて食事や余暇を楽しむリズムを作ることで安定して過ごすことができました。

桃山東地区の各種団体・委員会への参画による地域ネットワークの強化（児童養護含む）

◆新型コロナウイルス感染症が拡大する中、多くの地域行事が中止となりましたが、地域団体の会合にオンライン参加を含め可能な限り参加し、地域の状況や必要な対応の把握に努めるとともに、防犯や交通安全活動に、地域の一員として参画しました。
また、広報誌『桃山東だより』の原稿作成を担当し、作成の中心的役割を担いました。

前年度並の利用者数の確保

◆当施設は、自治体から措置される児童と、ご家族との契約で利用する児童とを 30 名定員で受け入れていますが、概ね８割程度と前年度並の利用率となりました。

利用者ニーズを踏まえた研修

◆近年の入所児童の特性を踏まえて「愛着障害の理解と支援」や「軽度発達障害のある児童」をテーマに研修を実施し、専門性の向上に努めました。課内の職員が講師を務めて基礎的な知識や技術を学ぶ機会としました。（６回/年間）

桃山学園（児童養護施設）

１年間の総括

新型コロナウィルス感染症の感染が拡大する中、３月上旬から５月下旬まで児童が通園・通学する学校等は全て臨時休校という状況での年度のスタートでした。外出や帰省、行事等の中止を余儀なくされ、児童がストレスを感じる中、安心・安全な生活の保障を常に意識し、「桃山学園安全委員会」が中心となり、個別ヒアリングを毎月実施するなど、きめ細やかな支援に努めました。

在園児童数については年間を通じて満室状態が続き、以前は中高生の入所者が多かったが最近は年少児の入所が増えてきています。社会的に虐待件数が毎年増加し続けていることや、家庭的養護として里親委託が推進されているものの、現状としては施設養護が主流となっている状況などが影響していると思われます。そのため、年少児童に対する愛着形成の再構築や健やかな成長に向けた、専門的な関わりに努めています。

退所した児童については、定期的に面談を行うことや電話相談に応じるなど、アフターケアを行い、施設を離れた後の生活へのサポートを行いました。年度末には、３名が高校を卒業し、２名が地域で自立生活を、１名は施設に残り専門学校に通うこととなりそれぞれが次のステージに歩み始めました。

主な取組み

データの「見える化」による支援の共有化

◆学校の休校期間が長かった影響もあり、施設内での児童間のトラブルも頻繁に発生したことから、児童のトラブル発生原因を分析するため、発生場所・時間の図式化や児童別のトラブル回数をグラフ化する等「見える化」を進め情報共有と支援に努めました。（令和２年度安全委員会開催　４回/年間）

◆課題のある児童へのアプローチの方法等について、心理担当職員からのアドバイスを得ながら、定期的に支援ミーティングで検討し、対応の統一を図りました。（ミーティング開催回数６回/年間）

経済界と連携した職業体験実習

◆社会的自立に向けては、かねてから京都中小企業家同友会との連携を進め、職業体験実習として働く場の提供のみならず、実習後の報告会や定例交流会の開催、実習中における毎月の面談などへ参加いただきました。児童にとっては、貴重な体験や外部の方との交流を通じて、社会に出ることのイメージを抱くことや、将来への希望を抱き実現したいという意欲向上につながっています。

◆定期交流会では、自分たちの考えや日常の出来事を目の前にいる大人に話す機会が持てました。（年6回、延べ75名参加）職業体験実習は、企業様にもご理解ご協力をいただき、コロナ感染予防に努めながら実施しました。（参加人数延べ11名）
実習後の報告会では児童それぞれが体験した感想を自分の言葉で述べる経験が出来、一回り成長しました。

関係機関とのきめ細やかな連携による受入で定員を充足

◆児童相談所との連携や乳児院からの措置変更予定児童に対する体験通所等の取組みにより、入所希望児童を積極的に受け入れました。今年度も児童数は、年間を通じて定員である30名でほぼ推移しました。（年度末在籍:32名（措置停止2名含む））

大学との連携による人材確保とスキルアップ

◆社会福祉士や保育士をめざす学生について、しっかりと感染防止対策を講じた上で現場実習を受け入れ、人材確保・育成に取り組みました。また、職員の出身大学からの講師派遣要請を受け、対面授業に出講しスキルアップを図りました。

◆家族を頼れない児童が社会的な自立をする上で必要不可欠な「未成年後見人制度」について、リモート研修を開催しました。未成年後見人のご苦労など貴重なお話を伺い、関係者の方々との連携の重要性を考える機会となりました。（障害児入所施設・東山FHと合同開催）

こども発達支援センター

１年間の総括

新型コロナウィルス感染症の感染拡大に伴い、緊急事態宣言が４月 17 日に発出され、京都府からの要請により通園や放課後等デイサービス部門では利用自粛のお願いをしたことから利用が大幅に減少しました。しかし、年度の後半においては、感染防止に万全の対応を行うことにより次第に利用の回復が図られました。

診療部門でも同様に年度始めは利用が減少しましたが、その後回復し、最終的には前年度を超える利用者数となりました。その反面、利用者の増加により初診待機期間の長期化が進む結果となりました。

児童発達支援事業（通園）では利用者ニーズも踏まえた就学前の年長児への対応、放課後等デイサービス事業では、京都府発達障害者支援センターとの連携による学童期以降の発達障害児への支援や不登校児への対応等新たな取組みを進めました。

相談支援事業や保育所等訪問事業についても新型コロナウィルス感染症の影響を受けましたが、目標は達成し、関係機関への講師派遣や地域への訪問療育事業なども実施できました。

主な取組み

年長児クラス（通園部門）を開設し、個々の児童に適した就学先の選定を支援

◆集団での過ごしにくさ等のある年長児を対象とした並行通園クラス（1クラス・5名）を開設（試行）しました。就学を見据え、保護者の方々には客観的視点でお子さんの姿を捉えてもらえ、お子さんが過ごしやすい就学先を決定していただくことができました。また、保育所等訪問支援事業として、就学先でのフォローにつなげます。

電子カルテの導入によりスムーズな他職種連携の実施

◆新たに導入した電子カルテにより利用者情報を一元化して閲覧、また適宜メールによる連絡が可能になる等、診療業務に関わる職種間の情報共有が容易になりました。それにより効率的に多職種でのチームアプローチによる支援を実施し、利用者満足度の向上を図ることができました。また、次回予約に際し予約票を発行し、予約を一括して確認しやすくなりました。

放デイ事業　土曜日クラスの開設と専門的支援の強化

◆放課後等デイサービスの土曜クラスを新たに開設し、契約数（契約45名、延べ2,033名/年）が増加しました。
また、医療機関からの情報提供を受け、新たに不登校傾向の児童も受け入れ、公認心理師等が専門的視点から支援に当たりました。（3名 151日/年間）

専門的スキルを地域に還元

◆保護者に向けたフォロー　おはなし広場「とまり木」の開催
子育てに不安を抱える地域の方々を対象にした“おはなし広場「とまり木」”を年3回開催。参加された方からは、日頃の悩み等を話せて良かったと好評でした。（参加者数3名）
◆専門職員を地域に派遣し障害のある児童の支援者の育成を支援
特別支援学校や地域の療育教室（5施設）に作業療法士や理学療法士、言語聴覚士等の専門職員を派遣（12名）し、療育機関のグループ療育への助言、療育スタッフや保護者の相談に対応しました。

利用者数:「診療部門」は増、「通園部門」は下半期増

◆診療部門については、電子カルテを導入したことで外来診療予約の効率化や情報の共有化を図ることができ、外来患者数は前年度を上回りました。（年間外来患者数15,419名 / 前年度14,316名）
また、セラピーの実施件数についても前年度を上回り、目標を達成しました。
（月平均771名　目標:650名）
◆児童発達支援部門については、1日当たりの通園児数19.5名を目標として取り組みましたが、上半期は新型コロナウィルス感染症等の影響もあり、目標には至りませんでした(平均14.0名)。しかしながら、下半期は徐々に回復し、平均19.8名となりました。

発達障害者支援センター

１年間の総括

京都府内６か所の圏域支援センターと連携し、府内全域の発達障害児・者支援状況を把握するとともに、より良い支援をめざし相談支援事業所に対する従事者研修会を実施しました。

また、幼児期から学齢期の発達障害児への専門的支援を行う人材を育成するため、療育機関へのアウトリーチ型支援や市町村主催の支援者スキルアップ研修をサポートしました。

「こども相談室」においては、担当主治医からの情報をもとに、教員とケース会議を実施し、その状況を主治医にフィードバックするなど医療と教育の連携に重点を置きました。また、思春期の子どもを持つ親へのペアレント・トレーニングや保護者の集いの場「ほっこりタイム」を開催して保護者支援に努めました。

京都ジョブパーク「ゆっくり相談コーナー」では、キャリアカウンセラーへのスーパーバイズや、就労の難しい求職者に対しては、「ゆっくり相談コーナー」で相談に応じるほか、若者サポートステーションなどの支援先を紹介しています。

「全国発達障害者支援センター連絡協議会」近畿ブロック代表幹事として、近畿ブロック10センター参加のオンライン研修会及び２回のセンター長会議を実施しました。

職員についても、発達障害者支援の一層の充実を図れるよう、積極的に研修派遣しました。

主な取組み

ペアレント・トレーニングを思春期の子どもの保護者を対象に実施

◆思春期の子ども（小学校高学年～中学生）をもつ保護者を対象に、子どもとの向き合い方や、保護者自身の感情のコントロール、ストレス対処法などについて、研究や実践で活躍されている大学の専門家からの助言も取り入れながら、講義やグループワークを交えてトレーニングを実施しました。（全６回＋フォローアップ１回）

相談支援従事者研修会をオンラインで開催し参加者大幅増

◆ひきこもりの方に発達障害特有の特性を有する方が見られるとの現状を踏まえ、地域で発達障害支援をしている相談員を対象に、今年度は「ひきこもり者への支援」というテーマで研修会（北部開催 11/19 30名参加、南部開催2/22　19名参加）を実施しました。初めてのオンライン開催でしたが、講義とグループワークを行い「地域の現状や資源の情報交換もでき顔の見える関係が出来たことで連携がしやすくなった」と参加者アンケートでも高評価をいただきました。

発達障害についての府民理解の促進に向けた研修への参画

◆国や学校、市役所等から依頼を受け、発達障害のある方への理解・啓発のため、発達障害について分かりやすく説明するとともに、ご本人への適切な対応等について講演を行いました。（計 10 回　310 人）

大学・大学院との連携による専門性の向上

◆京都大学（大学院）で開設された「発達症への介入による国民的健康課題の解決（ASD プロジェクト）」（120 時間：2 年間）（文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」）に職員を派遣し、自閉スペクトラム症の診断と評価の基礎となる医学的知識や特徴的な精神症状等に関する知識を習得することができ、今後、施設内職員で共有し支援に活用することとしています。

放課後等デイサービスへのアウトリーチ支援

◆当事業団や地域の放課後等デイサービスにおいて、各事業所の職員がソーシャルスキルトレーニング（SST：対人関係のコツを学び練習し日常生活に活かすプログラム）を実践するにあたって、具体的な支援方法の指導等を行いました。（11 回訪問/年間）

5　関連資料

管理運営施設の概要　31

職員状況　33

社会福祉法人京都府社会福祉事業団役員名簿　34

理事会・評議員会開催状況　35

職員研修実績　36

各施設外部派遣研修参加実績　38

各施設実習生受入実績　39

利用満足度アンケート調査結果について　40

苦情対応状況　51

ヒヤリハット・事故集計状況　53

各施設関連資料

(1) 本部事務局　54

(2) 心身障害者福祉センター　58

(3) 洛南寮　65

(4) 東山母子生活支援施設　70

(5) 視力障害者福祉センター　72

(6) 桃山学園　75

(7) こども発達支援センター　80

(8) 発達障害者支援センター　84

管理運営施設の概要

(1) 指定管理施設

施設名称	所在地	施設種別	定員	受託年月日	設立年月日
京都府立心身障害者福祉センター （所長：久保　俊一）	城陽市中芦原	障害者支援施設 ・生活介護 ・自立訓練(生活訓練) ・施設入所支援 ・短期入所（空床型） ・一般・特定相談支援 附属リハビリテーション病院 体育館	50名 50名 10名 50名 1名 病床数25床 －	昭和52年8月2日 昭和58年11月1日	昭和53年4月1日 昭和57年4月1日 昭和58年11月1日
京都府立洛南寮 （寮長：伊藤　勝敏）	京田辺市大住仲ノ谷14－1	養護老人ホーム 救護施設	100名 100名	昭和57年8月1日	昭和22年2月28日
京都府立東山母子生活支援施設 （施設長：森口　哲次）	京都市東山区清水四丁目185 - 1 (京都府立家庭支援総合センター内)	母子生活支援施設	20世帯	昭和58年4月1日	昭和22年1月15日
京都府立視力障害者福祉センター （所長：松本　勅）	京都市左京区下鴨森本町21	障害者支援施設 ・就労移行支援（養成施設） ・施設入所支援	60名 60名 40名	昭和58年11月1日	昭和23年7月1日
京都府立桃山学園 （園長：岩本　俊也）	京都市伏見区桃山町遠山50	障害児入所施設 ・施設入所 ・短期入所 ・日中一時支援事業 ・相談支援事業 児童養護施設 ・子育て支援事業	 30名 3名 30名 (短期利用事業含む)	昭和59年4月1日	昭和23年10月31日 昭和29年4月1日
京都府立こども発達支援センター （所長：平井　清）	京田辺市田辺茂ヶ谷186－1	児童発達支援センター ・福祉型 ・医療型 ・児童発達支援事業 ・保育所等訪問支援 ・障害児相談支援 ・放課後等デイサービス ・居宅訪問型児童発達支援	 30名 30名 1日5名 － － 1日10名 －	平成15年8月1日	平成15年10月1日

※　平成18年6月1日より全施設の管理代行者として、管理・運営を行う。

(2)　受託事業実施施設

施設名称	所在地	施設種別	定員	受託年月日	設立年月日
京都府発達障害者支援センター （センター長：長谷川　福美）	京都市伏見区竹田流池町120 (京都府精神保健福祉総合センター内)	－	－	平成19年4月1日	平成19年10月29日
こども相談室 （室長：長谷川　福美）	京田辺市田辺茂ヶ谷186－1 （こども発達支援センター内）	－	－	平成30年10月1日	平成30年10月1日

令和3年3月31日現在

管理財産等の内容

(1)　指定管理施設

施設の名称	土地	建物	
		建物延べ面積	専有面積
京都府立心身障害者福祉センター	56,151.61㎡	11,059.87㎡	－
京都府立洛南寮	11,295.00㎡	6,316.84㎡	－
京都府立東山母子生活支援施設	－	－	1,305.63㎡
京都府立視力障害者福祉センター	3,888.12㎡	3,664.99㎡	－
京都府立桃山学園	12,709.27㎡	4,134.39㎡	－
京都府立こども発達支援センター	9,577.67㎡	2,077.63㎡	－

職員状況

（ア）職員数　　（単位：名）

区分 / 施設名	常勤職員					小計	非常勤職員		小計	合計
	総合・地域	再雇用	府OB	府派遣	フルタイム嘱託職員		再雇用	嘱託職員		
本部事務局	6	1	1		4	12	0.09		0.090	12.090
心身障害者福祉センター	32	1	2		3	38	0.0	5.850	5.850	43.850
附属リハビリテーション病院	29	4	1	1	0	35	0.0	6.695	6.695	41.695
洛南寮	38	2	1		6	47		5.934	5.934	52.934
東山母子生活支援施設	6				2	8		1.217	1.217	9.217
視力障害者福祉センター	14				1	15		4.090	4.090	19.090
桃山学園	23		1		11	35		1.485	1.485	36.485
こども発達支援センター	41	1	1	1	9	53	0.0	5.687	5.687	58.687
発達障害者支援センター	7					7	0.8		0.800	7.800
合計	196	9	7	2	36	250	0.89	30.958	31.848	281.848

※令和3 年3月31日現在

※非常勤職員は、常勤（週40時間)換算

※理事長、常務理事は含めない。

※附属リハビリテーション病院については、宿直医は含めない。

（イ）勤続年数別職員数（総合・地域職員）　　（単位：名）

3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	平均勤続年数	合計
34	33	41	39	19	30	12.9	196

（ウ）年齢構成別職員数（総合・地域職員）　　（単位：名）

22歳以下	23歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	平均年齢	合計
2	26	38	68	58	4	43.1	196

社会福祉法人京都府社会福祉事業団役員名簿

令和3年3月31日現在

職　名	氏　名	備　考
理事長	金谷浩志	
常務理事	松本　均	
理事	磯　彰格	(福)南山城学園理事長
〃	伊藤勝敏	(福)京都府社会福祉事業団京都府立洛南寮長
〃	北川　靖	京都府医師会副会長
〃	久保俊一	京都府立医科大学特任教授
〃	余田正典	(福)京都府社会福祉協議会常務理事
監事	大槻明司	京都府民間社会福祉施設職員共済会常務理事
〃	和田　司	公認会計士
評議員	有賀やよい	精神科医
〃	岩井光男	(福)京都育成の会理事長
〃	岡本民夫	同志社大学名誉教授
〃	杉原優子	元京都府介護福祉士会会長
〃	徳川輝尚	全国身体障害者施設協議会顧問
〃	戸田雄一郎	元京都府保健福祉部長
〃	中島すま子	京都府看護協会会長
〃	藤田良一	京都府老人福祉施設協議会副会長
〃	松井道宣	京都府医師会会長

（各50音順に記載）

理事会・評議員会開催状況

（ア）理事会

区分	開催年月日	開催場所	出欠状況	議案
第103回理事会	令和2年6月10日（水）	京都府立総合社会福祉会館	出席理事　7名 欠席理事　0名 出席監事　2名 欠席監事　0名	第1号議案　令和元年度事業報告 第2号議案　令和元年度決算 第3号議案　第34回評議員会の招集 原案のとおり議決された
第104回理事会	令和2年9月29日（火）	京都府立総合社会福祉会館	出席理事　7名 欠席理事　0名 出席監事　2名 欠席監事　0名	第1号議案　給与規程の一部改正 第2号議案　資金運用要綱の一部改正 原案のとおり議決された
第105回理事会	令和2年12月22日（火）	京都府立総合社会福祉会館（WEB会議）	出席理事　7名 欠席理事　0名 出席監事　2名 欠席監事　0名	第1号議案　給与規程の一部改正 第2号議案　ハラスメントの防止等に関する要綱の一部改正 原案のとおり議決された
第106回理事会	令和3年3月17日（木）	京都府立総合社会福祉会館（WEB会議）	出席理事　7名 欠席理事　0名 出席監事　2名 欠席監事　0名	第1号議案　令和2年度補正予算 第2号議案　令和3年度事業計画及び当初予算 第3号議案　理事の選任 第4号議案　理事及び監事の報酬等の額 第5号議案　役員等報酬規程の改正（報酬等の支給の基準） 第6号議案　就業規則等の改正 第7号議案　施設長等の選任 第8号議案　第35回評議員会の招集 原案のとおり議決された
書面決議	令和2年4月1日（水）	―	―	第1号議案　常務理事の選定 原案のとおり全員の同意を得た

（イ）評議員会

区分	開催年月日	開催場所	出欠状況	議案
第34回評議員会	令和2年6月30日（火）	京都府立総合社会福祉会館	出席評議員　6名 欠席評議員　3名	第1号議案　令和元年度決算 原案のとおり議決された
第35回評議員会	令和3年3月26日（金）	京都府立総合社会福祉会館	出席評議員　6名 欠席評議員　3名	第1号議案　令和2年度補正予算 第2号議案　令和3年度事業計画及び当初予算 第3号議案　理事の選任 第4号議案　理事及び監事の報酬等の額 第5号議案　役員等報酬規程の改正（報酬等の支給の基準） 原案のとおり議決された

監事監査実施状況

区分	実施年月日	実施場所	監査事項
監事監査	令和2年5月29日（金）	京都府立総合社会福祉会館	・令和元年度の理事の業務執行について ・事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していること ・理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと ・計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示していること を認められた。

職員研修実績

研修区分	研修名	実施状況	研修内容
共通研修	虐待防止研修Ⅰ	対 象 者：全職員 開 催 日：令和2年6～7月 会　　場：オンライン（動画視聴型） 参加者数：261名	講師：E-care labo（イーケアラボ） 福嶋　潤一　氏 テーマ：虐待の基礎知識 身体拘束
	虐待防止研修Ⅱ	対 象 者：全職員 会場・開催日： 心身障害者福祉センター　11月19日 洛南寮　10月29日 東山母子生活支援施設　11月12日 視力障害者福祉センター　11月12日 桃山学園　10月16日 こども発達支援センター　11月6日 発達障害者支援センター　11月30日 参加者数：計141名	講師：こども発達支援センター　技術次長　則枝　勝也 テーマ：虐待事案の経過 改善に向けての取組み 虐待防止と支援の質の向上
	メンタルヘルス研修	対 象 者：全職員 開 催 日：令和2年11月16日 会　　場：オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型） 参加者数：91名	講師：鳥取大学大学院　医学系研究科臨床心理学専攻 准教授　竹田　伸也　氏 テーマ：コロナ禍におけるストレスマネジメント コロナ禍におけるストレスフリーのコミュニケーション コロナ禍における心の満たし方
	実践・研究発表会	対 象 者：全職員 OB職員 内定者 開 催 日：令和3年3月12日 会　　場：オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型） 参加者数：94名	【発表テーマ】 1.「ニコリほっとの取り組みから見えてきたこと」 発表者：心身障害者福祉センター　支援課 生活支援員　上村　真弘 主任（生活支援員）　宮崎　正樹 2.「医療的ケアを必要とするこどもや家族に関わる職員への理解度調査」 発表者：こども発達支援センター　診療課 看護師　森島　弘子 3.「心理検査上に作話様の反応がみられたくも膜下出血の症例」 発表者：心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 主任　公認心理師　村友　仁志 4.「弾性ストッキングの正しい着用方法を指導して」 発表者：心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 看護師　今西　美穂 5.「成年後見制度の活用　～Aさんのケースを通して～」 発表者：洛南寮　救護課　生活支援員　坂谷内　啓子 6.「鍼刺し事故防止の取り組みについて」 発表者：視力障害者福祉センター 職業生活支援員兼教員　矢野　隆玄 7.「Aさんとの関わりをこれからの支援に繋げていく為に」 発表者：桃山学園　児童養護課 児童支援員　玉田　紗和子
	OJT研修	対象者：エルダー職員 開 催 日：随時 会　　場：オンライン（動画視聴型） 参加者数：5名	講師：本部事務局　業務総合指導役　竹村　忠憲 テーマ：OJT（エルダーの実務）について

<table>
<tr><td rowspan="4">階層別研修</td><td rowspan="3">新規採用職員研修</td><td>第1回</td><td>新規採用職員研修
対象者：新規採用職員

開 催 日：令和2年4月1日
会　　場：京都府立総合社会福祉会館4階
「第5会議室」
参加者数：14名</td><td>講師：事務局長　中西　正和
テーマ：「法人の概要説明・事業団の役割について」

講師：本部事務局　事業･企画課　次長　川端　延子
テーマ：「キャリア形成について」

講師：本部事務局　総務課　課長補佐　笹原　直美
テーマ：「就業規則・給与・福利厚生」

講師：本部事務局　業務総合指導役　竹村　忠憲
テーマ：「コンプライアンス（法令遵守）と人権と虐待について」</td></tr>
<tr><td>第2回</td><td>オンライン座談会

（新採職員）
開 催 日：令和2年7月7日
令和2年7月14日

（中途採用職員）
令和2年7月9日

（地域職員）
令和2年7月15日
令和2年7月16日

会　　場：オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型）
参加者数：計17名</td><td>講師・ファシリテーター：本部事務局　生活支援員　久保田　真実
洛南寮　救護課　生活支援員　西川　佑樹
テーマ：入職後の現在までを振り返っての心境
業務における悩み・不安
今後の目標等</td></tr>
<tr><td>第3回</td><td>フォローアップ研修

（第1回）
開 催 日：令和2年10月12日
会　　場：京都府立総合社会福祉会館4階「第5会議室」
参加者数：12名

（第2回）
開 催 日：令和2年10月15日
会　　場：こどもみらい館4階「第2研修室A」
参加者数：12名</td><td>講師：本部事務局　業務総合指導役　竹村　忠憲
テーマ：「社会福祉施設におけるリスクマネジメントについて」

講師：こども発達支援センター　技術次長　則枝　勝也
テーマ：「場面記録・危険予知トレーニング」
「入職から現在までの振り返り」</td></tr>
<tr><td colspan="2">管理職・施設長層研修</td><td>対　　象：管理職・施設長層職員

開 催 日：令和2年12月15日
会　　場：オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型）
参加者数：25名</td><td>（第一部）
講師：株式会社エイデル研究所　京都支社　小林　雄二郎　氏
テーマ：考課者に求められる姿勢
考課時の留意点について

（第二部）
テーマ：令和3年度人事考課者制度の運用について</td></tr>
</table>

各施設外部派遣研修参加実績

施設名	施設種別	参加 研修数	参加 延べ人数	研修内容等
心身障害者福祉センター	障害者支援施設	8	15名	京都府社会福祉協議会各種研修（キャリアアップ研修、福祉職員こころの教科書セミナー、アンガーマネジメント研修、福祉職場におけるケース記録の書き方セミナー）　京都府健康福祉部障害者支援課・京都府リハビリテーションセンター主催研修　企業主催研修（ユニチャーム、はいせつ総合研究所）　他
	障害者支援施設（ひまわり）	2	相談支援 初任者 6名 高次脳機能 1名	①相談支援従事者初任者研修（相談支援専門員を養成する研修） ②高次脳機能障害支援関係機関連絡会議（府主催の高次脳機能障害者支援の研修で、病院、相談関係事業所、就労支援事業所等が令和2年度の活動を報告、問題点、課題等を話し合う）　他
	相談支援事業所 TOMO	2	医療的ケア 児等 4人 精神 1名	①医療的ケア児等コーディネーター養成研修 ②精神障害者の特性及びこれに応じた支援技法等に関する研修　他
	附属リハビリテーション病院	58	270名	京都病院学会、臨床神経心理士講習会、京都府リハビリテーション教育センター、日本リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション医学教育推進機構等 他
洛南寮	養護老人ホーム	6	16名	きょうと福祉人材育成認証制度支援メニュー（新任職員研修） 近畿老人福祉施設協議会養護老人ホーム職員研修会 サービス苦情解決事業セミナー 他
	救護施設	6	10名	京田辺市社会福祉協議会　ボランティア運営委員会 京都府社会福祉協議会　接遇研修 京都府地域定着支援センター　近畿ブロック研修会 近畿救護施設協議会　調査・研究、研修委員会 兵庫県社会福祉事業団　実践研究発表　他
東山母子生活支援施設	母子生活支援施設	20	30名	DV被害者支援専門員研修、全社協ファミリーソーシャルワーク研修、児童福祉施設職員研修、テーマ別研修「親の精神疾患と子どもの育ち」、社会人基礎力向上研修　他
視力障害者福祉センター	障害者支援施設	2	2名	視覚障害者ガイドヘルパー現任研修（R3.3.5） 相談支援専門員等スキルアップ研修（R3.3.26） 他
桃山学園	障害児入所施設	14	14名	・PECS『復習と問題解決』 ・障害のある方のための就職応援セミナー ・オレンジプログラム・インストラクター養成研修　他
	児童養護施設	5	5名	全国児童養護施設中堅職員研修(リモート) 2020年度西日本研修会(リモート) ファミリーソーシャルワーク研修(リモート) 他
こども発達支援センター	児童発達支援センター(福祉型・医療型) 児童発達支援事業 診療所 障害児相談支援 保育所等訪問支援事業 放課後等ディサービス事業	11	20名	相談支援従事者初任者研修 医療的ケア児等支援者養成研修 苦情解決セミナー 指導職研修Ⅰ（京都府） 福祉従者研修：中堅・指導者研修Ⅱ(京都府) 2020年度日本臨床栄養研究－小児、妊婦についての栄養と健康－　他
発達障害者支援センター	－	30	37名	・京都精神医学研究会主催研修にて2名の医師より発達障害の最新の知見を学ぶ ・京都府立支援学校主催の不登校支援研修会にて京都府内教育機関の不登校生徒の実態と対応を学ぶ ・京都大学高等教育アクシビリティプラットフォーム事務局主催研修にて障害学生支援室職員より大学で利用できる支援と必要な準備について学ぶ　他
合計		164	431名	

各施設実習生受入実績

施設名	施設種別	受入学校(団体)数	実習受入		延べ日数
			人数	内容	
心身障害者福祉センター	障害者支援施設	2	2名 1名	介護福祉士 社会福祉士	52日
洛南寮	養護老人ホーム	1	1名	介護等体験	5日
	救護施設	1	1名	社会福祉士	23日
東山母子生活支援施設	母子生活支援施設	4	3名 2名	社会福祉士 公認心理師	126日
桃山学園	障害児入所施設	5	6名 1名	保育士 社会福祉士	52日
	児童養護施設	4	1名 7名	社会福祉士 保育士	94日
こども発達支援センター	通園・通所部門	1	1名	保育士	10日
	診療部門	4	3名 2名 1名	作業療法士 言語聴覚士 公認心理師	29日
合計		22	32名		391日

※インターンシップに関しては、P57「（9）採用・広報活動実績」に掲載。

利用者満足度アンケート調査結果について

心身障害者福祉センター

1. 調査概要

(1) 実施時期　令和2年12月1日～令和2年12月27日
(2) 配布部数　46部
(3) 回収部数　44 部
(4) 回収率　95.7%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	61.4%	31.8%	6.8%	0.0%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	68.2%	25.0%	6.8%	0.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	65.9%	27.3%	6.8%	0.0%
④　施設の食事はおいしいですか。	59.1%	29.5%	11.4%	0.0%
⑤　日中活動や行事は楽しいですか。	56.8%	27.3%	13.6%	2.3%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	56.8%	38.6%	4.5%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	65.9%	27.3%	6.8%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	63.6%	25.0%	11.4%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	61.4%	29.5%	9.1%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	20.5%	68.2%	11.4%	0.0%
②　入浴・更衣・排泄等の生活場面で、プライバシーを守るよう配慮されていますか。	77.3%	11.4%	11.4%	0.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	75.0%	11.4%	13.6%	0.0%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	70.5%	4.5%	25.0%	0.0%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	61.4%	36.4%		2.3%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	43.2%	9.1%	34.1%	9.1%	0.0%	4.5%

心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和2年11月～令和2年12月
(2) 配布部数　31部
(3) 回収部数　22部
(4) 回収率　71.0%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　病院は清潔で快適な環境になっていますか。	77.3%	22.7%	0.0%	0.0%
②　病院は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	86.4%	4.5%	4.5%	4.5%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%
④　（入院中の）病院の食事はおいしいですか。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	ふつう (③いいえ)	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	9.1%	13.6%	54.5%	22.7%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーを守るように配慮されていますか。	77.3%	18.2%	4.5%	0.0%
③　施設を利用するにあたって何か困ったことがあったとき、あなたの不安や要望を相談できるところを知っていますか。	59.1%	36.4%		4.5%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	63.6%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%

洛南寮　養護老人ホーム

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和2年11月1日～令和2年12月31日
(2) 配布部数　85部
(3) 回収部数　76部
(4) 回収率　89.4%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	61.8%	30.3%	5.3%	2.6%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	65.8%	27.6%	3.9%	2.6%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	61.8%	26.3%	10.5%	1.3%
④　施設の食事はおいしいですか。	52.6%	31.6%	14.5%	1.3%
⑤　日中活動や行事は楽しいですか。	55.3%	27.6%	11.8%	5.3%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	68.4%	25.0%	6.6%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	76.3%	14.5%	7.9%	1.3%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	68.4%	25.0%	5.3%	1.3%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	69.7%	23.7%	3.9%	2.6%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	23.7%	59.2%	14.5%	2.6%
②　入浴・更衣・排泄等の生活場面で、プライバシーを守るよう配慮されていますか。	78.9%	6.6%	13.2%	1.3%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	72.4%	7.9%	17.1%	2.6%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	61.8%	13.2%	21.1%	3.9%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	38.2%	56.6%		5.3%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	38.2%	17.1%	26.3%	3.9%	3.9%	10.5%

洛南寮　救護施設

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和3年1月～
(2) 配布部数　88部
(3) 回収部数　82部
(4) 回収率　93.2%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	54.9%	34.1%	8.5%	2.4%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	58.5%	26.8%	13.4%	1.2%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	62.2%	28.0%	8.5%	1.2%
④　施設の食事はおいしいですか。	57.3%	29.3%	13.4%	0.0%
⑤　日中活動や行事は楽しいですか。	41.5%	45.1%	9.8%	3.7%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	62.2%	29.3%	7.3%	1.2%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	61.0%	26.8%	9.8%	2.4%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	53.7%	35.4%	9.8%	1.2%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	63.4%	29.3%	6.1%	1.2%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	23.2%	59.8%	15.9%	1.2%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーを守るよう配慮されていますか。	64.6%	9.8%	24.4%	1.2%
③　施設を利用するにあたって何か困ったことがあったとき、あなたの不安や要望を相談できるところを知っていますか。	74.4%	23.2%		2.4%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	29.3%	23.2%	39.0%	2.4%	3.7%	2.4%

東山母子生活支援施設

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和2年12月10日～令和2年12月23日
(2) 配布部数　13部
(3) 回収部数　8部
(4) 回収率　61.5%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
④　施設が企画する行事等は楽しいですか。	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%
⑤　職員の電話対応は、適切ですか。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	87.5%	0.0%	12.5%	0.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	50.0%	50.0%		0.0%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	75.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%

視力障害者福祉センター

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和2年12月21日～令和3年1月7日
(2) 配布部数　22部
(3) 回収部数　21部
(4) 回収率　95.5%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	52.4%	33.3%	9.5%	4.8%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	42.9%	42.9%	9.5%	4.8%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	52.4%	33.3%	9.5%	4.8%
④　施設の食事はおいしいですか。	52.4%	33.3%	9.5%	4.8%
⑤　施設が企画する行事等は楽しいですか。	19.0%	52.4%	23.8%	4.8%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	52.4%	33.3%	4.8%	9.5%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	52.4%	28.6%	9.5%	9.5%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	61.9%	19.0%	9.5%	9.5%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	38.1%	42.9%	9.5%	9.5%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	33.3%	52.4%	9.5%	4.8%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	52.4%	14.3%	28.6%	4.8%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	61.9%	23.8%	9.5%	4.8%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	42.9%	14.3%	38.1%	4.8%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	66.7%	23.8%		9.5%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	19.0%	28.6%	23.8%	9.5%	9.5%	9.5%

こども発達支援センター　児童発達

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和2年11月1日～令和2年12月31日
(2) 配布部数　86部
(3) 回収部数　72部
(4) 回収率　83.7%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%
④　施設の食事はおいしいですか。	73.6%	4.2%	0.0%	22.2%
⑤　日中活動や行事は楽しいですか。	90.3%	6.9%	1.4%	1.4%
⑥　職員の電話対応は、適切ですか。	95.8%	2.8%	0.0%	1.4%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	97.2%	2.8%	0.0%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	90.3%	9.7%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	4.2%	90.3%	5.6%	0.0%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	94.4%	1.4%	4.2%	0.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	94.4%	0.0%	4.2%	1.4%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	90.3%	1.4%	8.3%	0.0%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	76.4%	23.6%		0.0%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	77.8%	13.9%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%

こども発達支援センター　診療

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和2年11月1日～令和2年12月31日
(2) 配布部数　102部
(3) 回収部数　102部
(4) 回収率　100.0%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	82.4%	17.6%	0.0%	0.0%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	88.2%	9.8%	1.0%	1.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	81.4%	16.7%	1.0%	1.0%
④　職員の電話対応は、適切ですか。	92.2%	7.8%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	92.2%	7.8%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	86.3%	13.7%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	61.8%	28.4%	0.0%	9.8%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	8.8%	89.2%	2.0%	0.0%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	94.1%	1.0%	4.9%	0.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	93.1%	2.0%	3.9%	1.0%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	85.3%	1.0%	13.7%	0.0%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	26.5%	73.5%		0.0%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	51.0%	23.5%	9.8%	1.0%	0.0%	14.7%

こども発達支援センター　放課後等デイサービス

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和2年11月1日～令和2年12月31日
(2) 配布部数　43部
(3) 回収部数　29部
(4) 回収率　67.4%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④　日中活動や行事は楽しいですか。	89.7%	10.3%	0.0%	0.0%
⑤　職員の電話対応は、適切ですか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	89.7%	10.3%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	6.9%	93.1%	0.0%	0.0%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	93.1%	0.0%	6.9%	0.0%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	86.2%	13.8%		0.0%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
項　目	86.2%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

発達障害者支援センター

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和2年11月2日～令和2年12月28日
(2) 配布部数　19部
(3) 回収部数　19部
(4) 回収率　100.0%

2. 調査結果
【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	84.2%	15.8%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

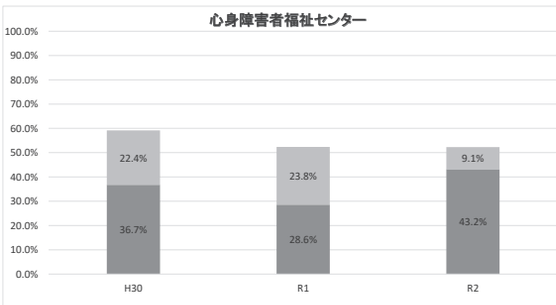
項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
②　相談のあとに、不安が軽減したり問題解決につながっていますか。	78.9%	5.3%	10.5%	5.3%
③　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	42.1%	52.6%		5.3%

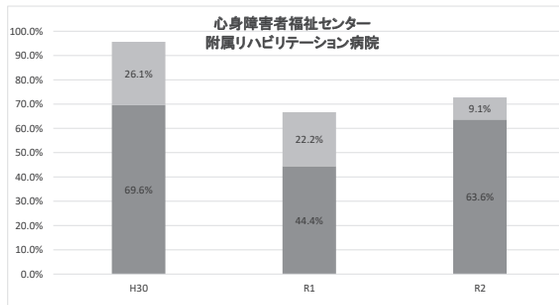
【全体的な満足度について】

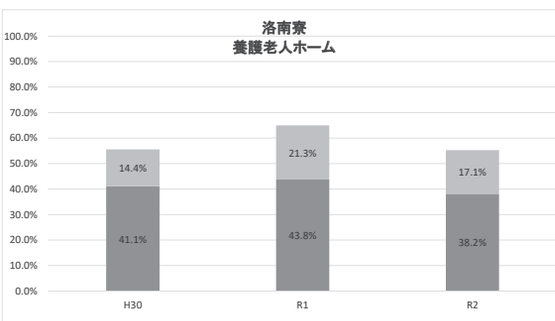
項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	63.2%	21.1%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%

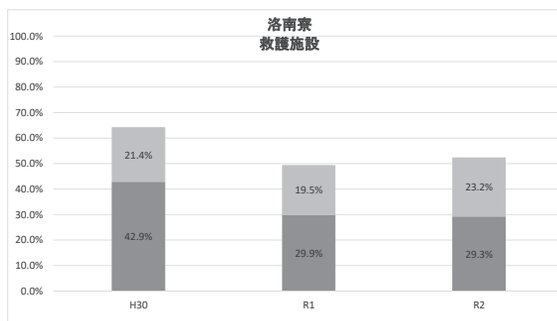
各施設別「満足」・「やや満足」と回答した者の推移

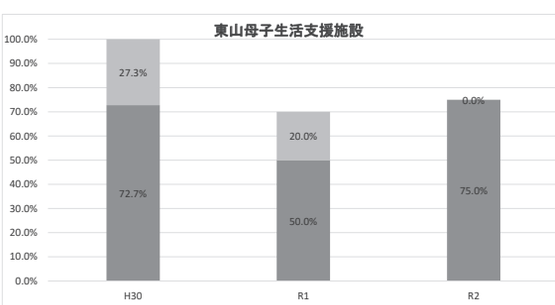
■満足　■やや満足

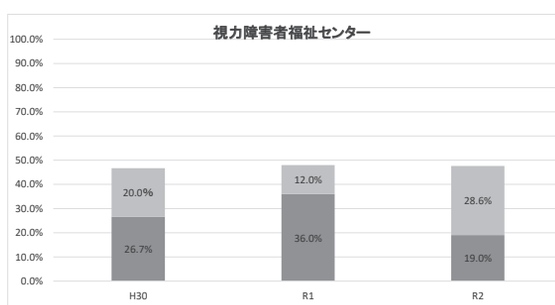


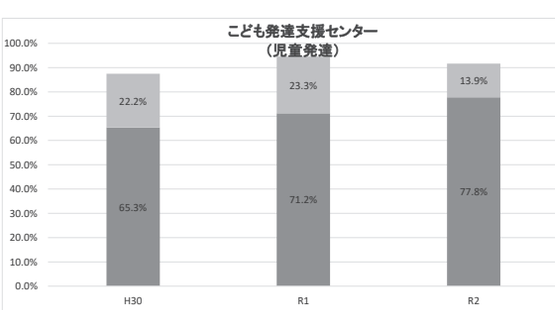


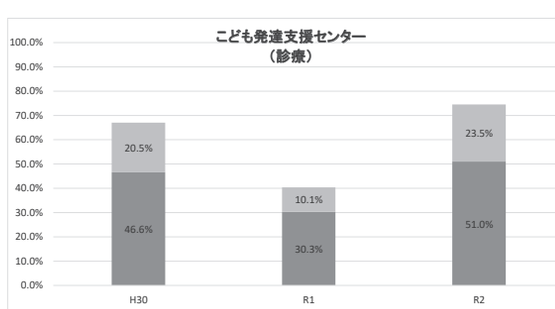




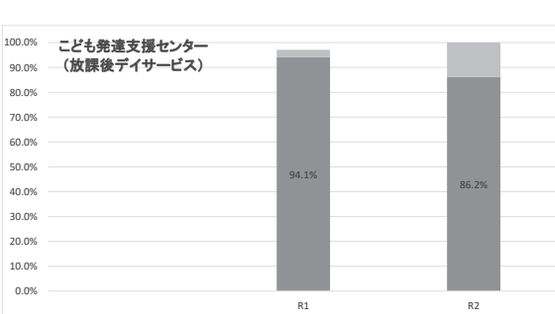




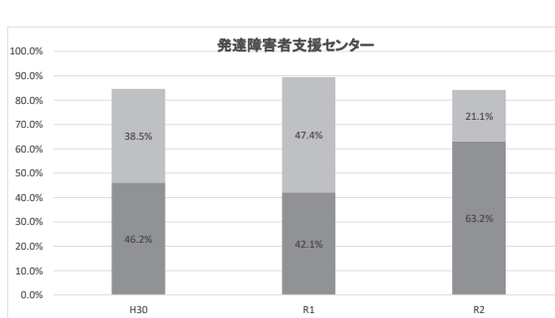




注）R1は未回答の割合が49.5%。本項目の質問がアンケートの裏面にあったことによる。



注）H30年10月開所。



苦情対応状況

(1)内容別発生件数

(単位：　件)

施設名 / 苦情の内容	心身障害者福祉センター	洛南寮	東山母子生活支援施設	視力障害者福祉センター	桃山学園	こども発達支援センター	発達障害者支援センター	合計
サービス内容（職員の接遇）	1	2	0	2	0	0	0	5
サービス内容（プログラム、生活支援、医療・看護ケア等）	0	0	0	1	0	0	0	1
サービス内容（食事関連）	0	0	0	0	0	0	0	0
相談・連絡（説明不足、対応の即時性等）	0	0	0	0	1	0	0	1
利用者間トラブル	0	0	0	3	0	0	0	3
設備	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	0	6	1	0	0	10

(2)受付方法

(単位：　件)

施設名 / 方法	心身障害者福祉センター	洛南寮	東山母子生活支援施設	視力障害者福祉センター	桃山学園	こども発達支援センター	発達障害者支援センター	合計
直接	1	2	0	6	0	0	0	9
第三者委員を介して受付	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	1	2	0	6	1	0	0	10

(3) 申し出者

(単位：　件)

施設名 / 申し出者	心身障害者福祉センター	洛南寮	東山母子生活支援施設	視力障害者福祉センター	桃山学園	こども発達支援センター	発達障害者支援センター	合計
本人	0	1	0	6	1	0	0	8
家族	1	1	0	0	0	0	0	2
その他（近隣住民　等）	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	0	6	1	0	0	10

(4)解決状況

（単位：件）

区分＼施設名	心身障害者福祉センター	洛南寮	東山母子生活支援施設	視力障害者福祉センター	桃山学園	こども発達支援センター	発達障害者支援センター	合計
円満解決（施設側の対応により申立者が納得）	1	2	0	5	1	0	0	9
円満解決(法人本部の介入により本人納得)	0	0	0	0	0	0	0	0
外部の機関の介入で解決	0	0	0	1	0	0	0	1
未解決にて調整中	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	0	6	1	0	0	10

(5)発生件数の年度推移

（単位：件）

施設名	心身障害者福祉センター	洛南寮	東山母子生活支援施設	視力障害者福祉センター	桃山学園	こども発達支援センター	発達障害者支援センター	合計
平成30年度	0	3	1	5	0	0	0	9
令和元年度	1	1	0	1	0	0	0	3
令和2年度	1	2	0	6	1	0	0	10

ヒヤリハット・事故集計状況

事故･ヒヤリハットの取扱い（新たな分類基準を含む）について、平成30年4月に開催「サービス向上推進委員会」で統一し、その分類による集計値を報告

（1）分類表

No.	種類	ヒヤリハット区分			事故 ［行政機関への報告］
		［レベル1］	［レベル2］	内部事故［レベル3］	
1	転倒等による被傷 （骨折、火傷、創傷等）	外傷なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	ア　利用者の死亡（左記1～7）
2	異食	未嚥下	施設内処置	医療機関への1回の通院	・サービス提供による利用者の死亡 ・利用者の死亡原因に疑義
3	誤嚥	未然回避	施設内処置	医療機関への1回の通院	イ　利用者の怪我等（左記1～7）
4	誤与薬	誤与薬の未然回避	自己管理者の服薬ミス	介護者管理に係る服薬ミス	入院又は医療機関での継続的な治療を要するもの
5	所在不明	敷地内等近辺で発見	周辺捜索にて発見 （概ね2時間以内）	警察への保護願い届け （24時間以内に発見）	ウ　利用者の保有する財物の損壊、滅失（10万円～） （左記8～9）
6	利用者間暴力	外傷等なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	エ　従業員の法令違反により利用者の処遇に影響を及ぼすもの
7	あはき施術による被傷	外傷等なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	オ　その他、管理者が報告を必要と判断したもの
8	利用者による施設、 設備等の損害	実害に至らなかったもの	施設内で復旧出来る 軽微なもの（～3万円）	復旧に金銭を多額に 必要とするもの（～10万円）	（・警察に保護願いを提出後24時間経過したもの） （左記5）
9	利用者の保有する 財物の損壊、滅失	実害に至らなかったもの	軽微なもの（～3万円）	多額なもの（～10万円）	（・利用者間暴力に関し,本人、家族の了承がないもの） （左記6）
10	セラピー,診察等予約ミス	未然回避	ミスはあったが他の方法にて実施し実害回避	実施できず	（注）利用者による施設、設備等の損害は事故の場合も行政機関への報告は要しない。

※2018. 4. 24　策定

（2）集計表　（法人全体　施設別）

（単位：件）

種類		心セ 支援課	洛南 養老	洛南 救護	東山母子	視力	桃山 支援課	桃山 養護	こども	合計
転倒等による被傷 （骨折、火傷、創傷等）	L1	80	77	148	0	1	13	9	15	343
	L2	11	17	23	2	0	8	5	22	88
	L3	2	4	3	2	0	1	3	0	15
	事故	2	11	4	0	0	1	0	1	19
異食	L1	2	2	1	0	0	14	2	4	25
	L2	0	0	0	0	0	1	1	4	6
	L3	0	0	0	0	0	6	1	0	7
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	L1	3	3	9	0	0	0	0	0	15
	L2	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	L3	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	事故	0	0	1	0	0	0	0	0	1
誤与薬	L1	41	13	45	0	0	12	0	0	111
	L2	6	1	17	0	0	0	0	0	24
	L3	25	3	34	0	0	3	3	0	68
	事故	0	0	0	0	0	1	0	0	1
行方不明	L1	8	3	11	0	0	18	0	0	40
	L2	0	0	1	0	0	2	0	0	3
	L3	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者間暴力	L1	6	1	11	0	0	6	0	0	24
	L2	2	0	1	0	0	10	0	0	13
	L3	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者による施設、 設備等の損害	L1	0	0	13	0	0	4	0	0	17
	L2	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	L3	0	0	1	0	0	3	0	0	4
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者の保有する 財物の損壊、滅失	L1	0	0	2	0	0	2	0	1	5
	L2	0	0	0	0	0	0	0	4	4
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あはき施術による被傷	L1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	L2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故	0	0	0	0	0		0	0	0
セラピー,診察等 予約ミス	L1	0	0	0	0	0	0	0	9	9
	L2	0	0	0	0	0	0	0	9	9
	L3	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	L1	140	99	240	0	2	69	11	29	590
	L2	20	18	42	2	0	24	6	39	151
	L3	27	8	40	2	0	14	7	1	99
	事故	2	11	5	0	0	2	0	1	21

1　本部事務局

（1） 法人虐待防止委員会実施状況

委員会名	実施日	実施内容
第8回虐待防止委員会	令和2年6月3日（水）	身体拘束について
虐待防止委員会（心身障害者福祉センター）	毎月1回	内、下記は法人虐待防止委員が参加 令和2年7月9日（木）　樋口委員、小出委員 令和2年8月13日（木）　松本委員 令和2年10月8日（木）　小出委員 令和2年12月10日（木）　樋口委員
虐待防止委員会（洛南寮）	毎月1回	令和2年7月22日（水）　樋口委員、松本委員、浅井委員 令和2年8月19日（水）　樋口委員、松本委員 令和2年12月16日（水）　小出委員 令和3年1月20日（水）　岡田委員
虐待防止委員会（東山母子生活支援施設）	毎月1回	令和2年7月15日（水）　小出委員、松本委員 令和2年8月26日（水）　松本委員
虐待防止委員会（視力障害者福祉センター）	毎月1回	令和2年7月15日（火）　松本委員、浅井委員、小出委員
虐待防止委員会（桃山学園）	毎月1回	令和2年8月27日（木）　松本委員 令和2年10月22日（木）　小出委員 令和2年11月26日（木）　岩井委員 令和3年1月28日（木）　岡田委員
虐待防止委員会（こども発達支援センター）	毎月1回	令和2年7月10日（金）　小出委員 令和2年8月7日（金）　松本委員 令和2年12月11日（金）　岡田委員

（2） サービス向上推進幹事会

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回サービス向上推進幹事会	令和3年2月19日（金）	（1）サービス向上の取り組みについて （2）救急対応マニュアルの整備と研修・訓練 （3）前年度の事故・ヒヤリハット集計と今年度の比較 （4）その他のマニュアル
サービス向上（マニュアル点検）視察	令和2年 11月20日（金） 11月17日（火） 12月　4日（金） 令和3年1月14日（木）	心身障害者福祉センター視察 洛南寮視察 桃山学園視察 こども発達支援センター視察

（3） 広報委員会実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回広報委員会	令和2年5月12日（火）	（1）今後の広報活動について オンライン説明会の開催 動画撮影・配信 Facebook投稿スケジュール
第2回広報委員会	令和2年7月16日（木）	（1）広報活動について 今年度の採用活動 オンライン説明会の振り返りと今後の対応 ホームページ改修 事業団としての先駆的な取組みについて （2）その他報告事項 Web版FUKUSHI就職フェア、大学ガイダンス　実施報告 京都の福祉職場の魅力発信プロジェクト　内容伝達

第3回広報委員会	令和2年12月15日(火)	(1)広報活動について 今年度の採用活動 ホームページ改修 SNSによる新たな広報活動の仕組みと広報委員の役割について (2)その他報告事項 「中期運営計画(仮称)(R②11月中間案)～利用者満足度の向上をめざして～」に対する職員意見の募集について 令和2年度内定者プログラム「施設見学ツアー」報告
第4回広報委員会	令和3年3月19日(金)	(1)広報活動について 令和2年度採用活動報告をふまえた効果的な広報活動について (2)報告事項 内定者プログラム　実施報告 福祉フェア　出展報告 (3)その他 インスタグラムの運用

(4) 研修委員会実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回研修委員会	令和2年6月17日(水) 令和2年6月18日(木)	(1)平成31年度本部研修計画(案)について (2)施設別キャリアパスの運用について (3)実践・研究発表会に向けた取組みについて (4)資格取得に向けた勉強会の実施について
第2回研修委員会	令和2年12月17日(木)	(1)令和2年度本部研修の進捗状況について (2)所内研修計画の実施状況について (3)オンライン研修・研修動画サービスの導入について (4)実践・研究発表会について (5)上位認証更新に向けての留意点(人材育成関係)
第3回研修委員会	令和3年3月1日(月)	(1)令和2年度本部研修の振り返り・次年度研修計画について (2)オンライン研修に伴う復命書・履歴管理について (3)新規採用職員の育成と定着について (4)実践・研究発表会について

(5) 職員安全衛生委員会実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回職員安全衛生員会	令和2年7月27日(月)	(1)令和元年度定期健康診断受診状況及び受診結果について (2)交通事故発生の状況について (3)令和2年度定期健康診断等の実施について ・定期健康診断第1・2クールについて ・放射線業務従事職員健康診断について ・介護業務等従事職員健康診断について (4)令和2年度ストレスチェックの実施について (5)年休・リフレッシュ休暇の取得促進について (6)産業医による職場巡視の実施について (7)その他
第2回職員安全衛生員会	令和3年1月14日(木)	(1)新型コロナウィルス感染症防止に係る取組みについて (2)令和2年度定期健康診断(第1クール)受診状況及び受診結果について ・健康診断結果に基づく再検診・産業医による保健指導実施要領(案)について (3)令和2年度ストレスチェックの結果について ・ストレスチェック調査事業実施要領(案)について (4)年次有給休暇の取得促進及び時間外勤務の縮減について ・時間外・休日勤務に係る産業医による保健指導実施要領(案)について (5)子育て応援ハンドブック(素案)について

第3回職員安全衛生員会	令和3年3月24日（水）	（1）就業規則等の改正について ・育児短時間勤務、部分休業の拡充 ・不妊治療休暇の新設 ・夜勤体制の充実 （2）人間ドック実施要領（案）について （3）感染症に係る予防接種について （4）年次有給休暇の取得促進及び時間外勤務の縮減について （5）次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の改定について ・子育て応援ハンドブック（令和3年度版） （6）各施設の衛生委員会の開催状況について

（6） 苦情解決連絡調整委員会

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
苦情解決連絡調整委員会活動	随時	各施設担当第三者委員へメールにて苦情並びに利用者からの訴え・要望等の受付状況を報告

（7） リスクマネジメントワーキングチーム実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回リスクマネジメントワーキング会議	令和3年1月13日（水）	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

（8） 事故防止委員会実施状況（事故防止推進員による対応）

訪問施設	実施回数	実施内容
心身障害者福祉センター	11回	事故・ヒヤリハット報告の検証及びアドバイス
洛南寮	8回	
東山母子生活支援施設	8回	
視力障害者福祉センター	11回	
桃山学園	7回	
こども発達支援センター	9回	

（9） 採用・広報活動実績

①就職イベント参加実績

フェア名	実施日	会場	人数
令和2年度プレ開催Web版FUKUSHI就職フェア	令和2年6月28日（日）	京都府立総合社会福祉会館4階 会館会議室 （オンライン開催）	5名
福祉職場就職フェア in 龍谷大学	令和2年7月1日（水）	龍谷大学 学生ポータルサイト 「manaba」内 （オンライン開催）	―
令和2年度Web版FUKUSHI就職フェア①	令和2年8月9日（日）	京都府立総合社会福祉会館4階 会館会議室 （オンライン開催）	8名
介護・福祉のお仕事 相談＆面接会	令和2年8月14日（金）	京都府立総合社会福祉会館3階 大会議室	5名
佛教大学合同就職説明会（PT、OT）	令和2年8月21日（金）～ 9月30日（水）	キャリタスCMS （オンライン配信）	―
令和2年度Web版FUKUSHI就職フェア②	令和2年8月30日（日）	京都府立総合社会福祉会館4階 会館会議室 （オンライン開催）	3名
2020年度京都府立大学 働き方研究会	令和2年11月20日（金）	京都府立総合社会福祉会館4階 会館会議室 （オンライン開催）	2名
福祉の動画合同就職説明会	令和3年2月下旬	学内ポータルシステム （オンライン配信）	―
令和2年度第2回FUKUSHI就職フェア	令和3年3月7日（日）	京都市勧業館3階（みやこめっせ） 第3展示会場	対面 34名 オンライン 3名

②インターンシップ・1DAYチャレンジ受け入れ実績

施設名	インターンシップ	1DAYチャレンジ	備考
心身障害者福祉センター	2名	0名	障害者支援施設 2名
洛南寮	5名	1名	養護老人ホーム 2名 救護施設 4名
東山母子生活支援施設	0名	0名	
視力障害者福祉センター	0名	0名	
桃山学園	16名	0名	障害児入所施設 15名 児童養護施設 1名
こども発達支援センター	0名	0名	
発達障害者支援センター	0名	0名	
計	23名	1名	

2　心身障害者福祉センター

（1） 施設利用状況の推移

① 障害者支援施設

（ア） 入・退所者の状況　（単位：名）

区分／年度	年度当初	入所	退所	退所の理由					年度末
				家庭復帰	自立生活	他施設	医療機関	死亡	
平成30年度	47	3	1	0	0	0	1	0	49
令和元年度	49	2	5	0	0	1	1	3	46
令和2年度	46	4	4	0	0	0	1	3	46

（イ） 月例別入所者数の推移　（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
平成30年度	47	48	48	48	50	50	50	50	50	50	50	49	49.2
令和元年度	49	49	48	47	46	46	46	46	46	47	46	46	46.8
令和2年度	46	47	47	47	47	46	48	46	46	46	46	46	46.5

（ウ） 他事業所利用状況　（単位：名）

	生活介護	就労B型	延べ利用日数
平成30年度	6	2	888日
令和元年度	6	2	1002日
令和2年度	6	1	551日

（エ） 年齢別状況　（単位：名）

区分／年度	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
平成30年度	0	2	7	11	27	47
令和元年度	0	3	5	13	28	49
令和2年度	0	3	5	10	28	46

（オ） 障害支援区分別状況　（単位：名）

区分／年度	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
平成30年度	0	0	0	3	18	26	47
令和元年度	0	0	0	2	19	28	49
令和2年度	0	0	0	3	16	27	46

（カ） 地域別入所者の状況　　（単位：名）

区分 年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府 他町村	他府県	合計
平成30年度	19	9	6	2	0	5	5	1	47
令和元年度	18	9	7	2	1	5	5	2	49
令和2年度	11	6	21	1	1	2	3	1	46

（キ）在所期間の状況　　（単位：名）

区分 年度	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	合計
平成30年度	2	4	2	14	11	7	6	1	47
令和元年度	3	2	5	11	11	10	5	2	49
令和2年度	2	4	3	8	12	9	7	1	46

（ク）短期入所状況　　（単位：名）

	利用実人数	利用回数	利用延べ 日数	備考 契約市町村
平成30年度	1	1回	2日	井手町
令和元年度	2	7回	45日	井手町　宇治市
令和2年度	5	42回	185日	井手町　宇治市　精華町 京田辺市

② 生活訓練事業所　ひまわり

（ア） 入・退所者の状況　　（単位：名）

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由					年度末
				家庭復帰	職場復帰/ 就労	他施設	医療機関	死亡	
平成30年度	9	2	1	0	1	0	0	0	10
令和元年度	10	6	5	0	4	1	0	0	11
令和2年度	11	4	3	3	0	0	0	0	12

（イ） 月例別入所者数の推移　　（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
平成30年度	9	9	9	10	10	9	9	9	9	10	10	10	9.4
令和元年度	10	9	9	8	8	8	9	11	12	13	13	13	10.3
令和2年度	11	12	13	12	12	12	11	11	11	11	11	12	11.6

③ TOMO地域別相談支援

(ア)相談支援の延べ件数 (単位:件)

区分 年度	入所施設		在　宅			合計
	心障(施設)	南京都・他施設	城陽市	宇治田原町	他	
平成30年度	49	104	1	0	20	174
令和元年度	49	69	1	1	17	137
令和2年度	61	57	0	3	14	135

※サービス等利用計画の作成と再評価の合計数を表示

※心障(施設)は入所者のみを記載

(イ)相談支援内容の内訳 (単位:件)

区分 年度	サービス等利用計画の作成	サービス等利用計画の再評価	地域定着支援	合計
平成30年度	70	92	12	174
令和元年度	24	108	5	137
令和2年度	62	73	0	135

③ 附属リハビリテーション病院

（ア） 外来患者の状況

区分 年度	1日平均外来患者数(名)	延べ外来患者数(名)	内、高次脳機能外来	外来診療単価(円)
平成30年度	76.0	18,542	2,286	8,130
令和元年度	68.6	16,462	2,018	9,394
令和2年度	65.7	15,964	2,268	9,504

（イ） 入院患者の状況

区分 年度	1日平均入院患者数(名)	延べ入院患者数(名)	平均在院日数(日)	入院診療単価(円)
平成30年度	15.4	5,628	34.5	34,092
令和元年度	14.5	5,308	34.8	33,198
令和2年度	12.7	4,624	30.6	35,810

（ウ） リハビリテーション実施状況 （単位：回）

区分 年度	運動器ﾘﾊﾋ゛ﾘﾃ-ｼｮﾝⅠ	脳血管疾患等ﾘﾊﾋ゛ﾘﾃ-ｼｮﾝⅡ	合計
平成30年度	13,458	11,195	24,653
令和元年度	13,224	9,837	23,061
令和2年度	13,838	9,277	23,115

④ 体育館

利用状況

区分 年度	身体障害者	一般	合計
	人員(名)	人員(名)	人員(名)
平成30年度	51,339	11,100	62,439
令和元年度	52,534	8,918	61,452
令和2年度	18,310	2,801	21,111

（2） 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

（障害者支援施設）

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
あしはらフェスタ	令和2年10月16日～23日	招待者　0名 勤務職員、利用者 計約60名	コロナ禍のため体育館を使用しての開催は中止、代わりに施設内で外部者を招かない形であしはらウィークと銘打って食事会・展示会等を実施

（附属リハビリテーション病院）

京都府リハビリテーション教育センター 座学研修会	令和3年2月6日	120名以上	（WEB形式講演） 「パラスポーツの現状と課題～COVID-19を越えて、未来へ～」と題し、パラスポーツも新型コロナウイルスの蔓延で大きな影響を受ける中、それを乗り越え、発展していく方向を探る内容の講演を行った。
青谷地区医療・健康講座	令和3年3月25日	5名	（ビデオ収録・上映形式） 神経内科医・PT・OT・STによる嚥下・健康体操をテーマにした講義や実演を撮影し、DVDを作成。青谷コミュニティセンターにて地域住民向けの上映会を実施した。

② 文化・ｽﾎﾟｰﾂ関係参加

城陽市福祉ふれあいまつり	ポスター展示期間 令和2年11月1日～30日	アルプラザ城陽店及び 文化パルク城陽	コロナ禍のため従来の形での開催は中止、各団体から福祉関連の啓発ポスター掲示を募集、アルプラザ城陽店、文化パルク城陽にて掲示

（3） 職場内研修実施状況

（障害者支援施設）

研修名	実施日	参加人数	研修内容
第1回所内研修	令和2年4月21日	13名	テーマ「ケアプランについて」 講師：並川総括主任 ①ケアプラン作成にあたっての助言、指導を資料と実習を通じて学ぶ。
第2回所内研修	①令和2年6月4日 ②令和2年7月20日	①20名 ②10名	テーマ「虐待防止研修」 講師：則枝技術次長 改めて虐待防止に向けた取り組みを学ぶことを目的として実施。
第3回所内研修	令和2年11月26日	6名	テーマ：「AED研修」 講師：日本赤十字社作成の動画視聴 AEDの取り扱い方及び救命救急法の解説を学ぶ。
第4回所内研修	令和3年1月26日	9名	テーマ「リフター講習」 講師：柳橋主任 正しいリフター移乗について学ぶ。
第5回所内研修	令和3年2月12日	5名	テーマ『「にこりほっと」から見えてきたこと』講師：宮崎主任、上村支援員　同年3月12日に行われる「事業団研究発表」『支援記録「にこりほっと」から見えてきたこと」』を事前発表し本番に備えるとともに参加者に学びの場を提供する。
第6回所内研修	令和3年3月19日	10名	テーマ「福祉職場におけるケース記録の書き方」 講師：中村　将支援員 復命研修として実施する。ケース記録の書き方の基本について（座学9、よい記録になる4つのルール、NGワード（演習）

（リハビリテーション病院）

研修名	実施日	参加人数	研修内容
第1回最新医療に関する院内研修	令和2年5月8日	29名	関節リウマチについて（Web開催）
第2回最新医療に関する院内研修	令和2年5月22日	31名	弾性ストッキング装着のパンフレット作成における効果
第1回医療安全対策研修	令和2年6月26日～7月30日（数回に分けて実施）	40名	身体拘束について
第3回最新医療に関する院内研修	令和2年7月31日	18名	骨粗鬆症性椎体骨折について
第1回院内感染防止対策研修	令和2年6月26日～7月30日（数回に分けて実施）	38名	感染症の基礎知識
第2回院内感染防止対策研修	令和2年7月31日	38名	スタンダードプリコーション
第4回最新医療に関する院内研修	令和2年8月27日	9名	リウマチの足の治療について
第5回最新医療に関する院内研修	令和2年8月28日	17名	リウマチの装具療法
第6回最新医療に関する院内研修	令和2年9月4日	12名	リウマチの看護
第7回最新医療に関する院内研修	令和2年9月11日	20名	障害者アスリートのための感染予防対策
第2回医療安全対策研修（救命救急講習）	令和2年11月11日～12月5日	43名	救命救急及びAED取り扱い研修

第3回医療安全対策研修	令和2年11月20日～11月30日	39名	十三市民病院院長先生DVD講義 （新型コロナウイルス感染対策について）
第8回最新医療に関する院内研修	令和2年11月13日	18名	下腿義足患者の歩行パターンの検討
第1回医療器機取扱研修	令和2年11月20日	39名	麻酔器機の取扱説明
第1回医薬品取扱研修	令和2年11月24日	44名	ロナセンテープについて（当日参加と録画視聴によるハイブリッド研修）
第9回最新医療に関する院内研修	令和3年1月15日	7名	肩外旋動作の評価と治療
第4回医療安全対策研修	令和3年1月29日～2月28日	38名	オンライン研修イーケアラボ「チームワーク」
第2回医薬品取扱研修	令和3年3月1日～3月15日	43名	新型コロナウイルスワクチンについて（動画視聴による研修）

3　洛　南　寮

（1） 施設利用状況の推移

① 養護老人ホーム

入・退所の状況　（単位：名）

区分／年度	年度当初	入所	退所	退所後の状況						年度末
				社会復帰	家庭復帰	医療機関	他施設	死亡	その他	
平成30年度	93	11	13	1	0	1	3	8	0	91
令和元年度	91	13	18	2	2	3	1	10	0	86
令和2年度	86	18	18	2	1	3	4	8	0	86

（イ） 月例別入所者数の推移　（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
平成30年度	95	94	94	94	96	96	95	93	94	94	93	91	94.1
令和元年度	91	90	91	92	94	91	90	91	89	85	83	86	89.4
令和2年度	87	87	85	87	87	87	87	87	84	85	86	86	86.3

（ウ） 年齢別状況　（単位：名）

区分／年度	65歳未満	65～74歳	75歳～84歳	85歳～95歳	95歳以上	合計	平均年齢（歳）	最高齢（歳）
平成30年度	0	23	41	25	2	91	80.0	102
令和元年度	0	23	37	24	2	86	79.8	103
令和2年度	0	23	37	24	2	86	80.0	104

（エ） 入所前の状況　（単位：名）

区分／年度	家族等同居	単身生活	長期入院	他施設	その他	合計
平成30年度	21	43	8	15	4	91
令和元年度	21	40	6	15	4	86
令和2年度	24	34	9	15	4	86

※その他は、ホームレス、矯正施設退所者

（オ） 地域別入所者の状況　（単位：名）

区分／年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
平成30年度	48	16	3	4	2	11	6	1	91
令和元年度	46	15	3	5	2	7	7	1	86
令和2年度	47	9	3	5	2	8	10	2	86

（カ） 介護認定状況　　（単位：名）

区分／年度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	未認定	平均介護度	計
平成30年度	34	3	6	14(3)	9(4)	11(9)	10(9)	4(4)	0	2.6(3.2)	91(29)
令和元年度	35	2	5	13(2)	7(4)	13(9)	8(7)	3(3)	0	2.5(3.2)	86(25)
令和2年度	36	4	5	11(2)	7(3)	9(7)	8(7)	6(6)	0	2.8(3.5)	86(25)

※(　)内は一般型特定施設入居者介護利用者

（キ）在所期間の状況　　（単位：名）

区分／年度	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	合計
平成30年度	10	22	23	18	10	7	1	0	91
令和元年度	10	22	20	22	5	7	0	0	86
令和2年度	16	18	15	26	5	6	0	0	86

② 救護施設

（ア） 入・退所の状況　　（単位：名）

区分／年度	年度当初	入所	退所	退所後の状況						年度末
				社会復帰	家庭復帰	医療機関	他施設	死亡	その他	
平成30年度	97	23	28	13	0	6	2	4	3	92
令和元年度	92	16	17	4	0	7	2	4	0	91
令和2年度	91	14	14	3	0	6	4	1	0	91

（イ）月例別入所者数の推移　　（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
平成30年度	95	95	93	92	94	89	87	90	93	92	93	92	92.1
令和元年度	92	93	93	90	90	89	91	91	90	91	93	94	91.4
令和2年度	91	89	90	87	87	86	86	87	88	90	90	91	88.5

（ウ） 年齢別状況　　（単位：名）

区分／年度	20～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	平均年齢（歳）
平成30年度	5	27	33	23	4	92	63.4
令和元年度	4	23	34	25	5	91	64.9
令和2年度	7	22	35	23	4	91	63.4

（エ） 入所前の状況　　（単位：名）

区分 / 年度	家族同居	単身	入院	他施設	その他	合計
平成30年度	17	20	47	8	0	92
令和元年度	13	14	56	8	0	91
令和2年度	11	16	58	6	0	91

※その他は、ホームレス、矯正施設退所者

（オ） 地域別入所者の状況　　（単位：名）

区分 / 年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
平成30年度	30	15	2	6	6	22	10	1	92
令和元年度	27	18	2	6	6	21	11	0	91
令和2年度	26	17	4	6	4	23	11	0	91

（カ） 障害別状況　　（単位：名）

区分 / 年度	身体障害	知的障害	精神障害	身体・知的重複	身体・精神重複	知的・精神重複	身体・知的・精神重複	その他	計
平成30年度	2	10	57	2	5	10	0	6	92
令和元年度	2	10	58	0	2	3	0	16	91
令和2年度	1	9	58	0	5	3	0	15	91

※その他はアルコール障害

（キ）在所期間の状況　　（単位：名）

区分 / 年度	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	合計
平成30年度	17	13	12	16	8	15	7	4	92
令和元年度	12	21	8	16	8	13	9	4	91
令和2年度	13	24	8	17	6	8	13	2	91

（ク）一時保護利用状況

区分 / 年度	利用者数	利用日数
平成30年度	10人	174日
令和元年度	15人	342日
令和2年度	7人	73日

（2） 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

（ア） 地域高齢者配食サービス事業

実施日	対象者数	給食数	実施内容
毎月第2水曜日 （4. 5. 6月は中止）	京田辺市内の70歳以上の独居老人	毎回35食	洛南寮で調理した夕食弁当を京田辺市社会福祉協議会ボランティアにより各対象者宅に配送する。

（イ） 地域交流

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
敬老のつどい	令和2年9月8日	ボランティア1名 利用者71名 （リモート参加含む）	感染症対策をとりながら招待者なしで実施。祝賀会の様子をデイルームでリモート中継した。祝賀式の後、ボランティアによるピアノ演奏で交流を深めた。
田辺中学校こころもち運動	令和2年12月21日	2名	引率教員1名と生徒1名の訪問あり。新型コロナウイルス感染症予防のため利用者との交流は中止。ぞうきん・花等の寄贈をしていただいた。

「洛南寮まつり」や「介護相談・施設見学会」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（ウ） 文化・ｽﾎﾟｰﾂ関係参加

「桃園小学校ふれあいフェスタ」や「きょうたなべ北部ふれあいまつり」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（エ） ボランティア受入

「利用者外出支援」や「余暇活動支援プログラム（喫茶・スポーツ等）」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（オ） ボランティア育成等

「紙すき体験教室」や「中学校生徒職場体験学習」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（3） 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
異動者等職員研修（全体）	令和2年4月2日	6名	令和2年度新規採用職員を対象とした施設概要説明、人権擁護虐待防止、身体拘束について、車いす介助講習の実施 講師：伊藤寮長、瀬尾課長、長田指導役、吉田機能訓練指導員
定例職員研修（第1回）	令和2年5月29日	7名	利用者急変時の対応について 講師：小新看護師、倉橋支援員、長田指導役
定例職員研修（第2回）	令和2年6月25日	7名	個別支援計画の作成について 講師：長田指導役
定例職員研修（第3回）	令和2年7月30日	10名	腰痛予防（痛みの種類、腰痛のセルフチェック、腰痛体操） 講師：吉田機能訓練指導員
定例職員研修（第4回）	令和2年8月27日	18名	不眠症治療薬について 講師：フェリス薬局薬剤師　米田宣正氏

定例職員研修（第5回）	令和2年9月24日	24名	「利用者さんの食事を試食してみよう」
定例職員研修（第6回）	令和2年11月26日	8名	基本の接遇マナー～電話応対について～ 講師：吉岡主任、西川支援員
定例職員研修（第7回）	令和3年1月28日	10名	急変時の対応～誤飲・転倒編～ 講師：永山看護師
定例職員研修（第8回）	令和3年2月25日	10名	高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対策 （動画視聴）
消防関連研修	令和2年8月25日	19名	夜間想定の避難訓練
消防関連研修	令和3年3月18日	19名	火災通報装置作動時の対応

4　東山母子生活支援施設

（1） 施設利用状況の推移

① 入･退所の状況

（単位:世帯）

区分／年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				DV･離婚 問題解決	生活能力 向上	復縁･結婚	未解決･ 自主退所	
平成30年度	16	6	7	6	1	0	0	15
令和元年度	15	6	8	3	0	1	4	13
令和2年度	13	5	4	3	1	0	0	14

② 月例別世帯数の推移

（単位:世帯）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
平成30年度	15	16	16	16	15	14	14	13	13	14	13	15	14.5
令和元年度	15	14	13	13	12	13	12	14	14	14	14	13	13.4
令和2年度	13	13	14	13	13	12	13	13	13	14	14	14	13.3

＊各月　月末現在

③ 入所前の状況

（単位:世帯）

区分／年度	DV	生計破綻	住居問題等	養育問題	死別	その他	合計
平成30年度	13	0	0	2	0	0	15
令和元年度	10	0	2	1	0	0	13
令和2年度	12	0	2	0	0	0	14

④ 在所期間の状況

（単位:世帯）

区分／年度	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上	合計
平成30年度	6	5	1	1	0	2	15
令和元年度	6	2	3	1	1	0	13
令和2年度	5	5	1	1	1	1	14

⑤ 児童の就学等の状況

（単位:名）

区分／年度	未就学	小学校	中学校	高等学校	その他	合計
平成30年度	15	7	2	1	0	25
令和元年度	8	13	1	1	0	23
令和2年度	8	12	4	0	0	24

⑥ 一時保護利用状況（配偶者等からの暴力行為一時保護事業）

区分 年度	世帯数	利用者数	利用日数
平成30年度	0世帯	0人	0日
令和元年度	1世帯	4人	11日
令和2年度	0世帯	0人	0日

※ 京都府家庭支援総合センター（京都府婦人相談所）からの一時保護

（2） 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

「清水まつり」や「東山区民ふれあいひろば」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

② ボランティア受入

「さいもんめ学生サークル活動」や「学習ボランティア」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（3） 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
「虐待対応について」	令和2年5月20日	2名	・子ども虐待対応マニュアルの確認 ・虐待への施設内対応システムの確認と徹底 講師：飯田　龍子
「虐待対応について」	令和2年6月17日	8名	・子ども虐待対応マニュアルの確認 ・虐待への施設内対応システムの確認と徹底 講師：飯田　龍子
「社会人基礎力向上研修」報告	令和2年9月30日	9名	「～知らないと後で恥ずかしい！？社会人としての基本の接遇研修～」 身だしなみの整え方、メールのマナー（文章・手紙の書き方）等 講師：有末母子支援員
「第三者評価自己評価を通して」支援の現状確認	令和2年10月7日 令和2年10月21日	各9名	第三者評価自己評価を通しての支援の現状確認 講師：中砂総括主任
人権擁護研修	令和3年1月29日	4名	「未成年後見人制度及びその実態について」 講師：山之口弁護士
「児童福祉施設職員研修」報告	令和3年3月3日	9名	「性教育は人権教育～包括的性教育とは？」 「日本の性に関する課題と性教育の現状」 講師：木下主任

5　視力障害者福祉センター

（1） 施設利用状況の推移

① 入･退所の状況　（単位:名 ）

区分 / 年度	種別	年度当初			途中退所			年度末					
			あん摩科	はり科		あん摩科	はり科			あん摩科		はり科	
平成30年度	通所	15	7	8	2	2	0	13	(4)	5	(2)	8	(2)
	入所	18	8	10	1	0	1	17	(9)	8	(6)	9	(3)
	計	33	15	18	3	2	1	30	(13)	13	(8)	17	(5)
令和元年度	通所	11	5	6	0	0	0	11	(2)	5	(1)	6	(1)
	入所	14	9	5	1	1	0	13	(3)	8	(1)	5	(2)
	計	25	14	11	1	1	0	24	(5)	13	(2)	11	(3)
令和2年度	通所	17	8	9	4	3	1	13	(4)	5	(2)	8	(2)
	入所	8	5	3	0	0	0	8	(2)	5	(2)	3	0
	計	25	13	12	4	3	1	21	(6)	10	(4)	11	(2)

※視力センターにおいては、入所試験により年度当初に利用者を決定するため、年度中の入所はない。

※年度末在籍欄の(　)数字については、うち数で卒業生の人数を記載

※途中退所には休所人数を含む

② 月例別利用者数の推移　（単位:名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均利用者数
平成30年度	33	33	32	32	32	31	31	31	31	31	30	30	31.4
令和元年度	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24.9
令和2年度	25	25	24	24	24	23	22	22	22	22	21	21	22.9

③ 年齢別状況　（単位:名）

区分 / 年度	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	合計
平成30年度	1	9	8	5	10	33
令和元年度	2	7	4	6	6	25
令和2年度	1	6	4	6	8	25

④ 地域別入所者の状況　（単位:名）

区分 / 年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
平成30年度	6	0	0	0	1	5	0	21	33
令和元年度	5	0	0	0	1	3	0	16	25
令和2年度	7	0	1	0	2	1	0	14	25

⑤ 卒業後の進路状況

（単位：名 ）

区分 年度	科別	進級	教員養成施設	病院医院	治療院	自営	老人福祉施設等	聴講	その他	計
平成30年度	あん摩科	1	0	0	0	0	1	0	6	8
	はり科	0	0	2	0	2	1	0	0	5
	計	1	0	2	0	2	2	0	6	13
令和元年度	あん摩科	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	はり科	1	0	0	2	0	0	0	0	3
	計	1	0	0	2	1	1	0	0	5
令和2年度	あん摩科	0	0	0	3	0	0	1	0	4
	はり科	0	0	0	1	0	0	0	※1	2
	計	0	0	0	4	0	0	1	1	6

※その他欄は、企業内施術者1名

⑥ 国家試験合格率

（単位：名 ）

区分 年度	種別	あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧師	はり師	きゅう師	合計
平成30年度	受験者数	12	5	5	22
	合格者数	11	4	5	20
	合格率(%)	91.6%	80.0%	100.0%	—
令和元年度	受験者数	3	3	2	8
	合格者数	3	3	2	8
	合格率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	—
令和2年度	受験者数	6	2	2	10
	合格者数	5	2	2	9
	合格率(%)	83.3%	100.0%	100.0%	—

⑦ あん摩･はり 臨床実習の状況

（単位：名 ）

区分 年度	あん摩･マッサージ	はり･きゅう	合計
平成30年度	1,090	332	1,422
令和元年度	625	250	875
令和2年度	729	105	834

⑧ 相談支援内容の内訳

（単位：件）

区分 年度	サービス等利用計画の作成	サービス等利用計画の再評価	合計
平成30年度	10	32	42
令和元年度	16	23	39
令和2年度	16	20	36

（2） 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者･参加者	実施内容
地域あん摩奉仕	令和2年11月6日	49名	例年よりも縮小し、また、感染症対策を講じて、地域住民の方や臨床実習利用者の方々に対し、日頃の協力に感謝の気持ちを込めて、あん摩施術を奉仕

（3） 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
理療科教員研修会	令和2年8月17日	12名	テーマ:「鍼灸刺激による血管の拡張、収縮が果たす役割について」 講師:松本所長
国家試験対策研修会	令和2年6月30日、7月1日 令和2年9月28日、10月1日 令和2年11月11日 令和3年1月26日、1月28日 令和3年3月2日	延べ96名	テーマ:「第29回国家試験の出題傾向と対策について」 講師:各科目担当教員
授業内容改善研修会	令和3年3月3日	15名	テーマ:「コンセンサス(合意形成)について」 講師::ファシリテーター･コンサルタント 原由紀子氏
授業内容改善会議	令和2年8月3日 令和2年12月16日	延べ26名	テーマ:「授業の質の向上を目指した学習支援について」 講師:各科目担当教員
施術者マナー講習会	令和3年3月3日	32名	テーマ:「就職に必要なマナーの基本を身につけよう」 講師:ファシリテーター･コンサルタント 原由紀子氏
面接研修会	令和3年3月4日	5名	テーマ:「面接の基本マナーと面接の実習指導」 講師:一浦教員、川口教員

6　桃山学園

（1） 施設利用状況の推移

① 障害児入所施設

（ア）入・退所児童数　（単位：名）

区分／年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				就職	家庭復帰	成人施設	その他	
平成30年度	20(10)	3(0)	3(1)	0(0)	2(1)	1(0)	0(0)	20(9)
令和元年度	20(9)	5(3)	2(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(0)	23(10)
令和2年度	23(10)	2(0)	3(1)	0(0)	0(0)	3(1)	0(0)	22(9)

※(　)内は契約者数　※令和元年度途中で契約から措置へ切替　1名

（イ） 月例別入所者数の推移　（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
平成30年度	20	20	20	20	21	20	20	19	20	20	20	20	20.0
令和元年度	22	22	22	22	22	21	22	22	22	22	23	23	22.1
令和2年度	23	24	23	23	23	24	24	24	24	24	24	22	23.5

（ウ） 年齢別状況　（単位：名）

区分／年度	2～5歳（幼児）	6～12歳（小学生）	13～15歳（中学生）	16歳～18歳（高校生）	18歳以上	合計
平成30年度	1	5	7	7	0	20
令和元年度	1	5	11	5	1	23
令和2年度	0	5	13	4	0	22

（エ） 入所前の状況　（単位：名）

区分／年度	保護者				児童		合計
	死亡 行方不明	病気/入院	養育能力欠如	虐待	不適応行動	生活習慣の乱れ	
平成30年度	1	1	11	7	0	0	20
令和元年度	1	1	17	4	0	0	23
令和2年度	1	1	15	5	0	0	22

（オ） 在所期間の状況　（単位：名）

区分／年度	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上	合計
平成30年度	3	5	2	2	3	5	20
令和元年度	6	2	5	2	1	7	23
令和2年度	3	5	2	4	2	6	22

（カ） 児童の就学等の状況　（単位:名）

区分 / 年度	未就学	小学校	中学校	高等学校	過齢児	合計
平成30年度	1	5	8	6	0	20
令和元年度	1	5	11	5	1	23
令和2年度	0	5	13	4	0	22

（キ） 一時保護利用状況

区分 / 年度	利用者数	利用日数
平成30年度	1名	10日
令和元年度	0名	0日
令和2年度	1名	7日

（ク） 退所後の進路状況　（単位:名 ）

区分 / 年度　科別	一般就労	就労支援A型	就労支援B型	生活介護事業所	施設入所	その他	計
平成30年度	0	0	0	1	1	1	3
令和元年度	0	0	1	1	0	0	2
令和2年度	0	0	1	1	0	1	3

（ケ） 障害程度(IQ･DQ)別状況　（単位:名）

区分 / 年度	軽度(51～75)	中度(36～50)	重度(20～35)	最重度(19以下)	合　計（再掲　強度行動障害児）
平成30年度	13	4	3	0	20 (4)
令和元年度	12	2	7	2	23 (4)
令和2年度	13	0	7	2	22 (4)

（コ） 短期入所及び日中一時支援の状況　（単位:名）

区分 / 年度	短期入所		日中一時支援		備考 契約市町村
	利用実人数	利用延べ日数	利用実人数	利用延べ日数	
平成30年度	16	304日	7	56日	京都市、木津川市、八幡市、大山崎町、向日市、城陽市、京田辺市、長岡京市、精華町
令和元年度	11	180日	3	49日	京都市、木津川市、八幡市、大山崎町、向日市、城陽市、京田辺市、長岡京市、精華町
令和2年度	11	140日	3	18日	京都市、大山崎町、向日市、京田辺市、長岡京市、宇治市、亀岡市、舞鶴市

② 児童養護施設

（ア） 入･退所児童数

（単位:名）

区分 / 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				家庭復帰	進学	就職	その他	
平成30年度	23	10	3	1	0	1	1	30
令和元年度	30	7	9	5	0	2	2	28
令和2年度	28	6	2	0	0	1	1	32

※令和2年度末児童数32名には、措置停止児童2名を含む。

（イ）月例別入所者数の推移

（単位:名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
平成30年度	26	26	25	25	29	29	29	29	29	29	28	30	27.8
令和元年度	28	27	26	27	28	29	29	27	27	27	27	28	27.5
令和2年度	28	27	29	29	29	29	29	29	29	30	30	32	29.2

（ウ） 年齢別状況

（単位:名）

区分 / 年度	2～5歳（幼児）	6～12歳（小学生）	13～15歳（中学生）	16歳～18歳（高校生）	18歳以上	合計
平成30年度	6	12	5	7	0	30
令和元年度	5	11	6	5	1	28
令和2年度	6	11	7	8	0	32

（エ） 入所前の状況

（単位:名）

区分 / 年度	保護者				児童		合計
	死亡 行方不明	病気/入院	養育能力欠如	虐待	不適応行動	生活習慣の乱れ	
平成30年度	1	0	7	20	1	1	30
令和元年度	0	0	8	17	2	1	28
令和2年度	0	0	9	20	2	1	32

（オ） 在園期間の状況

（単位:名）

区分 / 年度	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上	合計
平成30年度	10	6	4	4	1	5	30
令和元年度	6	5	4	5	3	5	28
令和2年度	6	3	5	5	5	8	32

（カ） 児童の就学等の状況　（単位：名）

区分 年度	未就学（幼稚園含む）	小学生	中学生	高校生	措置延長	合計
平成30年度	7	11	5	7	0	30
令和元年度	5	11	6	6	0	28
令和2年度	6	11	7	8	0	32

（キ） 一時保護利用状況

区分 年度	利用者数	利用日数
平成30年度	9名	81日
令和元年度	6名	59日
令和2年度	1名	4日

（ク） 一時預かり(各市町村子育て支援事業)利用状況　（単位：名）

区分 年度	利用状況			委託理由別延べ人数					
	利用人数	利用回数	利用延べ人数	保護者仕事	保護者入院等	保護者出産	保護者看護	保護者冠婚葬祭	その他（リフレッシュ等）
平成30年度	0	0回	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度	0	0回	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度	0	0回	0	0	0	0	0	0	0

（ケ） 高校卒業後の進路状況　（単位：名 ）

区分 年度　科別	就職	進学	福祉的就　労	計
平成30年度	1	0	1	2
令和元年度	1	0	1	2
令和2年度	0	2	0	2

（2） 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

「こどもまつり」や「桃山学園祭」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

② ボランティア受入

事業名称		実施回数	参加者	実施内容
余暇支援（児童養護施設）		2回	20名	従前来園の龍大Voサークル活動停止のため 外出行事・園内行事・ダンス・学習支援・
理美容支援	（障害児施設）	6回	7名	措置児童を中心に実施
	（児童養護施設）	9回	136名	希望児童の散髪を1～2月1回実施

（3） 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
新任研修	令和2年4月2日	3名	異動者及び新規採用職員に対する研修 学園全体及び各施設の概要、課内の業務説明 講師：園長、各課担当者
所内研修	令和2年　9月15日 令和2年10月20日 令和2年12月15日 令和3年　1月19日 令和3年　2月16日 令和3年　3月16日	延べ36名	「PECS」「適切な処置」「介助の種類と量」「リーダーシップ理論」「自傷について」「感覚統合」「集団生活施設の環境設定」「伝え方」「愛着障害の理解と支援」「軽度発達障害のある児童」「児童との面談」「見聞録使用」 講師：支援課職員
救命救急法講習会	令和2年9月29日	16名	伏見消防署醍醐分署署員による救命救急法講習会 心肺蘇生（AED使用方法含む）実地研修
防犯研修	令和2年11月17日	14名	伏見警察署員による不審者侵入想定　防犯研修
保健研修「感染症対策」	令和2年12月11日	7名	看護師による感染症予防における対応方法を学ぶ研修会
人権擁護研修	令和3年1月29日	11名 （＋東山ファミリーホーム）	京都弁護士会所属弁護士から未成年後見人について講演。　　意見交換
外部アドバイザーによる自閉症研修	令和2年　6月23日 令和2年　7月13日 令和2年　9月14日 令和2年10月12日 令和2年11月　9日 令和2年12月14日 令和3年　2月　8日 令和3年　3月　8日	延べ73名	外部アドバイザー（久賀谷　洋氏）とのケース検討 〔11/9　外部アドバイザー研修（評価セミナー）〕

7　こども発達支援センター

（1） 施設利用状況の推移

① 通園部門

（ア） 入・退園の状況　　（単位：名 ）

年度	区分 種別	年度当初	入園	退園の状況				年間開所日数	延べ通園人数	通園率（%）
					卒園	終了	移行			
平成30年度	福祉型：児童発達	41	17	23	2	21	0	222	4,595	69.1
	医療型：児童発達	30	10	14	5	9	0	222	1,973	29.3
	児童発達（重心）	5	4	1	0	1	0	221	226	20.4
	計	76	31	38	7	31	0	—	—	—
令和元年度	福祉型：児童発達	41	11	26	8	12	6	226	4,084	60.2
	医療型：児童発達	19	8	6	0	3	3	226	1,777	26.2
	児童発達（重心）	8	1	2	2	0	0	226	373	33.0
	計	68	20	34	10	15	9	—	—	—
令和2年度	福祉型：児童発達	50	25	31	9	22	0	223	3,784	56.6
	医療型：児童発達	10	9	5	0	5	0	223	766	11.4
	児童発達（重心）	9	5	4	2	2	0	223	372	33.4
	計	69	39	40	11	29	0	—	—	—

※「年度当初」及び「入園」欄には4月1日付け入園児数を含む。

※「定員に対しての通園率」＝「実際の延べ通園人数」÷「最大通園人数（定員×年間開園日数）」

（イ）月例別通園児数の推移　　（単位：名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均通園児数
30	福祉型：児童発達	41	41	41	40	40	41	46	48	48	47	46	52	44.3
	医療型：児童発達	30	30	30	30	30	30	32	35	36	36	36	40	32.9
	児童発達（重心）	5	5	5	6	5	5	5	6	7	7	7	8	5.9
	合計	76	76	76	76	75	76	83	89	91	90	89	100	83.1
1	福祉型：児童発達	41	42	42	42	46	48	50	49	50	50	52	54	47.1
	医療型：児童発達	19	20	22	20	19	19	20	20	20	20	21	22	20.1
	児童発達（重心）	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	8.4
	合計	68	70	72	70	73	75	78	78	79	79	82	85	75.8
2	福祉型：児童発達	50	52	52	54	56	57	59	57	63	62	64	64	57.5
	医療型：児童発達	10	10	11	11	12	13	12	12	12	15	16	17	12.6
	児童発達（重心）	9	10	11	11	11	11	10	11	11	11	11	11	10.7
	合計	69	72	74	76	79	81	81	80	86	88	91	92	80.8

（ウ） 卒園後の状況

（単位：名 ）

区分 年度	種別	支援学校	小学校		合計
			普通学級	障害児学級	
平成30年度	福祉型：児童発達	2	0	0	2
	医療型：児童発達	1	0	4	5
	児童発達（重心）	0	0	0	0
	計	3	0	4	7
令和元年度	福祉型：児童発達	3	1	4	8
	医療型：児童発達	0	0	0	0
	児童発達（重心）	2	0	0	2
	計	5	1	4	10
令和2年度	福祉型：児童発達	3	4	2	9
	医療型：児童発達	0	0	0	0
	児童発達（重心）	2	0	0	2
	計	5	4	2	11

② 診療部門

（ア） 外来患者数

（単位：名 ）

区分 年度	小児科	整形外科	精神科	合計
平成30年度	12,024	217	2,782	15,023
令和元年度	11,158	256	2,902	14,316
令和2年度	12,025	262	3,132	15,419

（イ） セラピー、心理検査実施状況（延べ単位数/件）

区分 年度	理学療法（単位）	言語療法（単位）	作業療法（単位）	合計	心理検査（件）
平成30年度	5,476	5,403	7,397	18,276	995
令和元年度	5,608	5,553	4,879	16,040	1,038
令和2年度	5,194	7,131	6,038	18,363	915

（ウ） 初診待機児童数（発達障害）

（単位：名 ）

区分 年度	年度当初	新規予約	診察済	待機児童数（3月31日時点）	待機期間
平成30年度	54	490	376	153	2.4ヶ月
令和元年度	153	405	373	185	3.2ヶ月
令和2年度	185	454	317	322	5.17ヶ月

※待機児童数はキャンセルを控除

③ 地域支援部門

（ア） 訪問療育指導実施状況

年度	区分＼派遣職種	PT（理学療法士）	ST（言語聴覚士）	OT（作業療法士）	心理判定員	その他	合計
平成30年度	指導人員（名）	1	3	7	0	0	11
	訪問先（箇所）	1	3	7	0	0	11
令和元年度	指導人員（名）	1	3	5	0	0	9
	訪問先（箇所）	1	1	3	0	0	5
令和2年度	指導人員（名）	1	5	6	0	0	12
	訪問先（箇所）	1	2	2	0	0	5

※訪問療育指導… 各市町村の療育教室や知的障害者通所施設等へ職員を派遣し、相談指導すること。

（イ）－1 放課後等デイサービス 学年・学級・学校別状況 （単位：名 ）

年度	学年＼学校・学級	通常学級	通級指導教室利用（ことばの教室）	特別支援学級	特別支援学校	計
平成30年度	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	2	0	0	0	2
	3年生	6	3	3	0	9
	4年生	5	1	2	0	7
	5年生	2	0	2	0	4
	6年生	4	2	0	1	5
	中学1年生	1	0	0	0	1
	計	20	6	7	1	28
令和元年度	1年生	0	－	0	0	0
	2年生	5	－	2	0	7
	3年生	3	－	1	0	4
	4年生	11	－	6	0	17
	5年生	3	－	2	0	5
	6年生	0	－	4	0	4
	中学1年生	2	－	0	1	3
	計	24	0	15	1	40
令和2年度	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	1	0	2	0	3
	3年生	9	1	3	0	12
	4年生	8	0	2	0	10
	5年生	7	0	0	0	7
	6年生	7	1	2	0	9
	中学1年生	0	0	1	0	1
	中学2年生	1	0	1	1	3
	計	33	2	11	1	45

（イ）－２　放課後等デイサービス　利用状況

	開所日数(日)	延べ利用人数(名)	1日当たり平均(名)
平成30年度	148	774	5.2
令和元年度	237	2,165	9.1
令和2年度	229	2,033	8.9

※平成30年度10月事業開始

（ウ）放課後等デイサービス　診断名別状況　（単位：名 ）

診断名／年度	自閉症スペクトラム（疑いも含む）	高機能広汎性発達障害	広汎性発達障害	ADHD（疑いも含む）
平成30年度	21	2	2	10 ［7］
令和元年度	19	0	2	9[6]
令和2年度	40	0	1	15[13]

※自閉症スペクトラムとADHD併存している場合もある。[]に記入。

（2）　地域に向けた公益的な取組み

①　地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
とまり木	8月6日 8月21日 12月7日	（参加者）3名	地域支援の一環として、お子様の発達（知的・情緒・言語）が気になる保護者に対して、気軽に相談できる場を提供し、不安の軽減や日々のお子様との関わり方などを提案していく。

②　ボランティア受入

事業名称	実施日	参加者	実施内容
通常ボランティア	月～金	1名	保育で使用する物の作成等 来所日：1/21 ・3/16・ 3/23
放デイ　ボランティア	火～土	13名	放デイ活動の補助：延べ受入れ　199名

（3）　職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
職員研修（所内研修）	令和2年4月2日	4名	新規採用者研修（異動者含む） 目的：センター全体の役割や各課が行っている事業について理解する
職員研修（所内研修）	令和2年5月20日	5名	ひやりはっと 講師：事故防止・虐待防止委員会 目的：ひやりはっとの基礎知識の習得
職員研修（所内研修）	令和2年5月15日 令和2年5月29日	24名	医療的ケアについて 対象：医療型・重心クラス担任及び専従スタッフ
職員研修（所内研修）	令和2年6月26日	29名	食物アレルギーについて 対象：通園に関係する職員
職員研修（所内研修）	令和2年6月11日	11名	施設における学童期の連携について 対象：学童期に関わる職員
職員研修（所内研修）	令和2年9月18日	10名	介助について 対象：新任層及び医療に関わる職員
職員研修（所内研修）	令和2年10月29日	9名	吐物処理について 目的：センターにおける吐物処理方法を理解する

8　発達障害者支援センター

(1) 施設利用の状況

① 障害種別利用状況(実支援人員)　　(単位:名)

区分 年度	自閉症	ｱｽﾍﾟﾙｶﾞｰ症候群	広汎性発達障害	注意欠陥多動性障害(AD/HD)	学習障害(LD)	その他	不明(未診断を含む)	合計
平成30年度	248	86	79	56	3	54	271	797
令和元年度	89 (33)	22 (0)	21 (1)	39 (13)	7 (4)	20 (5)	306 (69)	504 (125)
令和2年度	95 (32)	20 (1)	13 (2)	41 (15)	6 (3)	25 (3)	207 (39)	407 (95)

※(　)内はこども相談室実支援人員

② 年齢別利用状況(実支援人員)　　(単位:名)

区分 年度	0～6歳(乳幼児)	7～12歳(小学生)	13～18歳(中･高校生)	19歳以上	不明	合計
平成30年度	8	69	84	600	36	797
令和元年度	5 (1)	87 (70)	96 (48)	254 (1)	62 (5)	504 (125)
令和2年度	13 (5)	73 (56)	64 (33)	212	45 (1)	407 (95)

※(　)内はこども相談室実支援人員

③ 相談内容別利用状況(延べ相談件数)　　(単位:件)

区分 年度	発達障害の有無	家庭生活	制度	利用機関	教育･進路	対応困難状況の改善	就労･職場	その他	合計
平成30年度	96 (2)	413 (55)	91 (16)	391 (52)	332 (61)	33 (8)	340 (0)	213 (67)	1,909 (261)
令和元年度	123 (29)	632 (229)	155 (94)	488 (124)	527 (350)	70 (35)	408 (0)	377 (183)	2,780 (1,044)
令和2年度	70 (22)	753 (256)	89 (8)	421 (232)	572 (58)	66 (38)	322 (0)	405 (201)	2,698 (815)

※30年度より(　)内はこども相談室件数

④ 相談方法(延べ支援人数)　　(単位:名)

区分 年度	来所	訪問	電話	その他	合計
平成30年度	316	79	961	36	1,392
令和元年度	466 (224)	95 (38)	1,284 (426)	90 (0)	1,935 (688)
令和2年度	376 (165)	82 (41)	1259 (365)	68 (2)	1,785 (573)

※(　)内はこども相談室実支援人員

6　職員配置状況

令和3年3月31日現在

職種	法人全体			本部事務局			心身障害者福祉センター															洛南寮									東山母子生活支援施設			視力障害者福祉センター		
							計			障害者支援施設			自立訓練・TOMO			リハビリ病院			体育館			計			養護老人			救護施設								
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計
事務職員	30	3	33	12	0	12	5	0	5	4	0	4			0	1		1			0	3	0	3	1		1	2		2	1		1	1	1	2
医師	9	20	29			0	5	3	8			0			0	5	3	8			0	0	2	2		1	1		1	1		1	1		2	2
歯科医師	1	0	1			0	1	0	1			0			0	1		1			0	0	0	0			0			0			0			0
生活支援員	63	15	78			0	25	8	33	23	8	31	2		2			0			0	38	7	45	18	5	23	20	2	22			0			0
職業生活支援員兼教員	13	0	13			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0	13		13
体育指導員	2	3	5		1	1	2	2	4			0			0			0	2	2	4	0	0	0			0			0			0			0
少年支援員	3	1	4			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0	3	1	4			0
児童支援員	20	0	20			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			0
母子支援員	4	0	4			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0	4		4			0
相談支援員	6	0	6			0	2	0	2			0	2		2			0			0	0	0	0			0			0			0			0
訪問支援員	3	0	3			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			0
発達支援員	3	0	3			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			0
保育士	25	0	25			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			0
公認心理師	7	0	7			0	1	0	1			0			0	1		1			0	0	0	0			0			0			0			0
臨床心理士	0	0	0			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			
理学療法士	9	0	9			0	3	0	3			0			0	3		3			0	1	0	1	1		1			0			0			0
作業療法士	10	0	10			0	5	0	5			0	1		1	4		4			0	0	0	0			0			0			0			0
言語聴覚士	6	0	6			0	2	0	2			0			0	2		2			0	0	0	0			0			0			0			0
薬剤師	1	1	2			0	1	1	2			0			0	1	1	2			0	0	0	0			0			0			0			0
臨床検査技師	1	1	2			0	1	0	1			0			0	1		1			0	0	0	0			0			0			0			0
診療放射線技師	1	2	3			0	1	1	2			0			0	1	1	2			0	0	0	0			0			0			0			0
栄養士	6	0	6			0	2	0	2	1		1			0	1		1			0	1	0	1			0	1		1			0	1		1
看護師	25	7	32			0	15	3	18	2		2			0	13	3	16			0	4	0	4	2		2	2		2			0		1	1
准看護師	2	1	3			0	2	1	3			0			0	2	1	3			0	0	0	0			0			0			0			0
歯科衛生士	0	1	1			0	0	1	1			0			0		1	1			0	0	0	0			0			0			0			0
自動車運転員	0	1	1			0	0	0	0			0			0			0			0	0	1	1			0		1	1			0			0
調理員	0	3	3			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			0
その他技術職員	0	17	17			0	0	2	2			0			0		2	2			0	0	2	2		2	2			0		1	1		4	4
合計	250	76	326	12	1	13	73	22	95	30	8	38	5	0	5	36	12	48	2	2	4	47	12	59	22	8	30	25	4	29	8	3	11	15	8	23

※「常勤」とは週40時間勤務の職員をいう
※「非常勤」とは週40時間未満勤務の職員をいう

※理事長、常務理事を含めない
※施設長は、医師を除き「事務職員」
※「リハビリ病院」　宿直医師を含めない
※視力障害者福祉センター　舎監、ヒューマンアシスタントはその他技術職員勘定
※桃山学園　児童指導補助員はその他技術職員勘定

職種	桃山学園									こども発達支援センター																											発達障害者支援センター		
	計			障害児入所			児童養護			計			福祉型			医療型			児童発達			相談・検査			保育所訪問			障害児相談			放課後等デイ					
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計
事務職員	4	0	4	2		2	2		2	3	1	4	1		1	1	1	2			0	1		1			0			0			0			0	1	1	2
医師	0	2	2		2	2			0	4	10	14			0			0			0	4	10	14			0			0			0			0			0
歯科医師	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0			0
生活支援員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0			0
職業生活支援員兼教員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0			0
体育指導員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0			0
少年支援員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0			0
児童支援員	19	0	19	11		11	8		8	1	0	1	0		0			0			0			0			0	0		0	1		1			0
母子支援員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0			0
相談支援員	0	0	0			0			0	1	0	1			0			0			0			0			0	1		1			0	3	0	3
訪問支援員	0	0	0			0			0	3	0	3			0			0			0			0	3		3			0			0	0		0
発達支援員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0	3		3
保育士	10	0	10	7		7	3		3	15	0	15	9		9	2		2	3		3			0	1		1			0			0			0
公認心理師	0	0	0			0			0	6	0	6			0			0	0		0	4	0	4			0			0	2		2			0
臨床心理士	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			0
理学療法士	0	0	0			0			0	5	0	5			0			0	1		1	4		4			0			0			0			0
作業療法士	0	0	0			0			0	5	0	5			0	1		1			0	3		3			0			0	1		1			0
言語聴覚士	0	0	0			0			0	4	0	4	0		0			0			0	4		4			0			0			0			0
薬剤師	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
臨床検査技師	0	0	0			0			0	0	1	1			0			0			0		1	1			0			0			0			0
診療放射線技師	0	0	0			0			0	0	1	1			0			0			0		1	1			0			0			0			0
栄養士	1	0	1	1		1			0	1	0	1	1		1			0			0			0			0			0			0			0
看護師	1	0	1	1		1			0	5	3	8			0	1		1	1		1	3	3	6			0			0			0			0
准看護師	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
歯科衛生士	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
自動車運転員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
調理員	0	0	0			0			0	0	3	3		3	3			0			0			0			0			0			0			0
その他技術職員	0	8	8			0		8	8	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
合計	35	10	45	22	2	24	13	8	21	53	19	72	11	3	14	5	1	6	5	0	5	23	15	38	4	0	4	1	0	1	4	0	4	7	1	8

https://www.ksj.or.jp/

社会福祉法人京都府社会福祉事業団

〒604-0874
京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地
京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）6階
TEL:075-222-2212　　FAX:075-222-2236